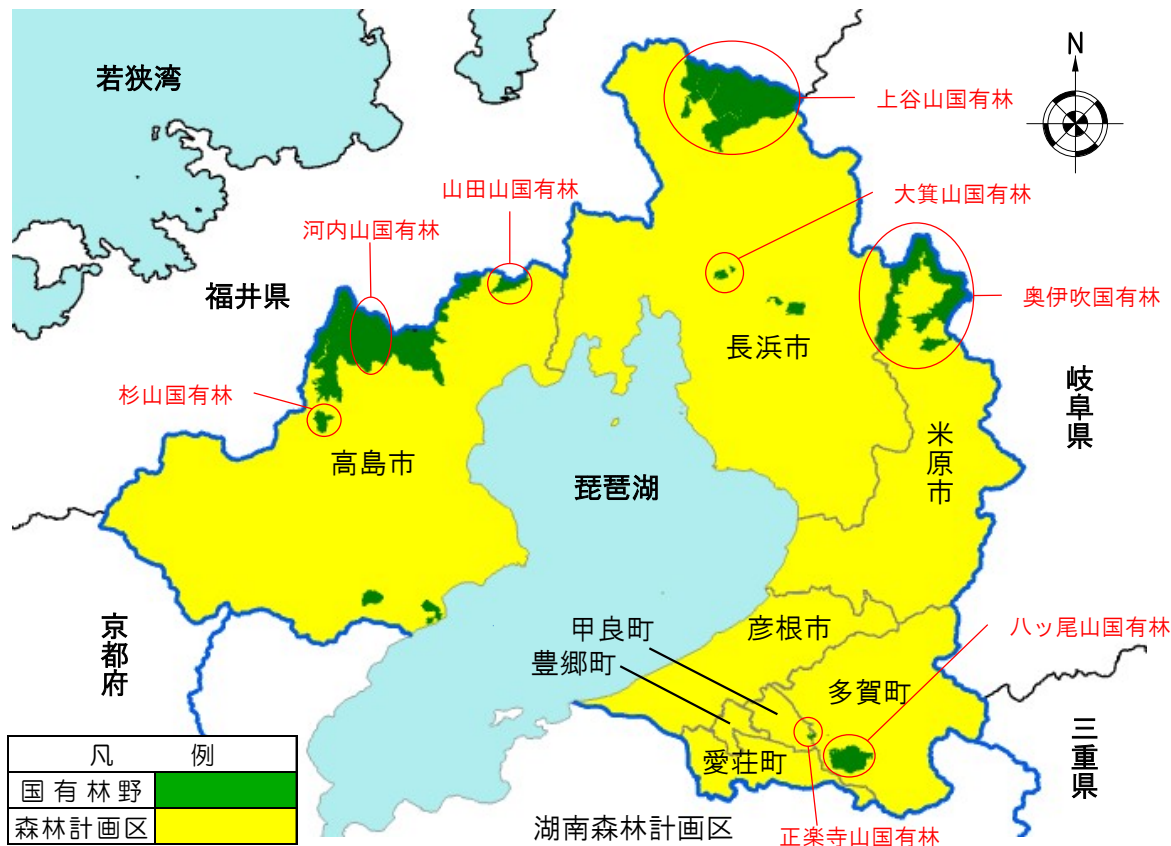


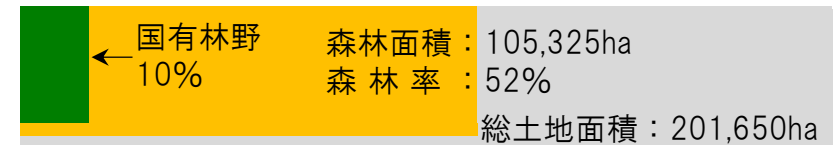
① 湖北森林計画区の地域管理経営計画等について（滋賀森林管理署）

国有林野の基本データについて

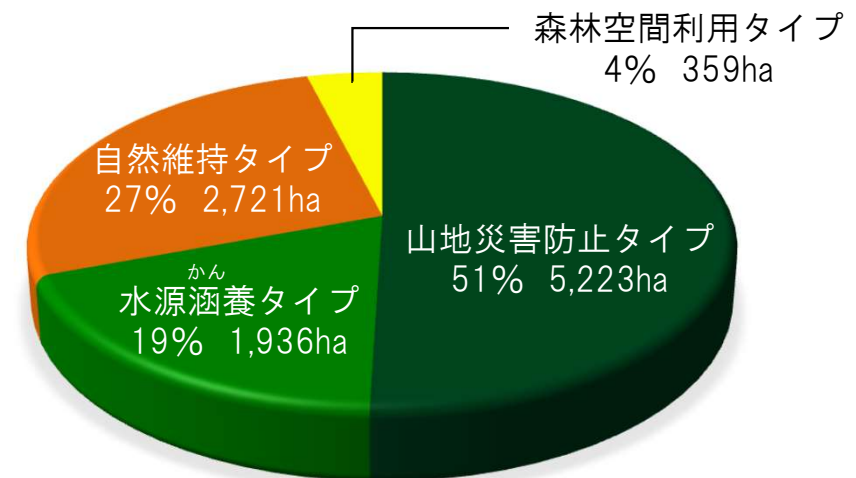
- ◆ 森林計画区の区域は、高島市をはじめとする4市4町となっています。
- ◆ 国有林野は10,239haであり、計画区総土地面積の5%、森林面積の10%を占めています。
- ◆ 福井県境及び岐阜県境付近に比較的大きな団地が所在するほか、琵琶湖周辺に小面積の団地が点在しています。



森林計画区内における森林面積の割合



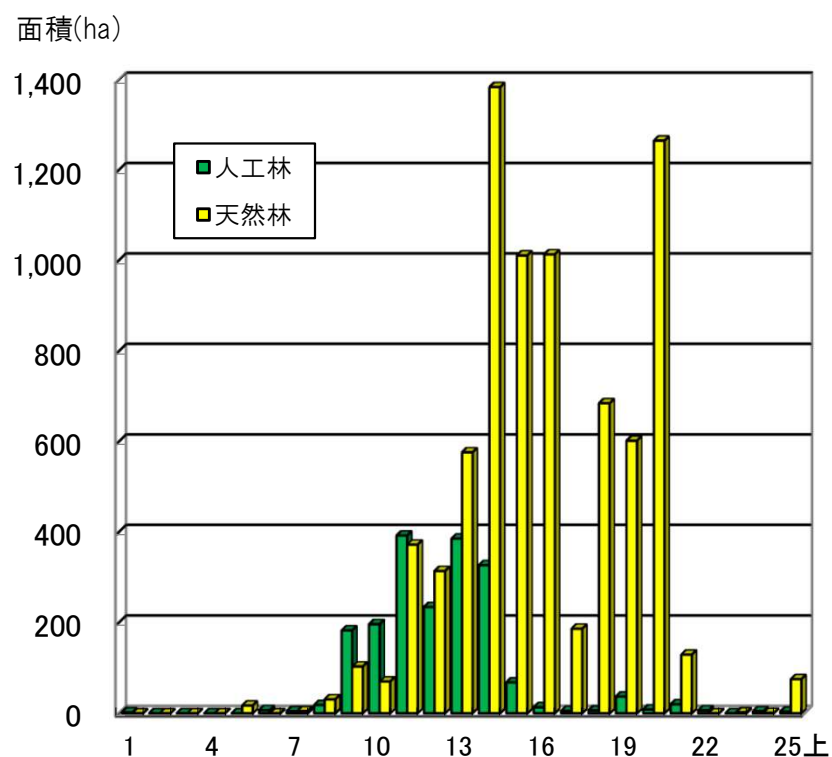
機能類型別森林面積



国有林野の特徴

- ◆ 国有林野面積（林地）の80%を天然林が占めており、北部に位置する上谷山国有林や山田山国有林に保護林を設定し、森林生態系の保護・保全を図っています。
- ◆ 東部に位置する奥伊吹国有林は立地条件が良く、スキーなど森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されています。

齢級別面積（R6.3.31時点）



※ 齢級とは、5年をひと齢級としたもので、
林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

【保護林内のブナ林】



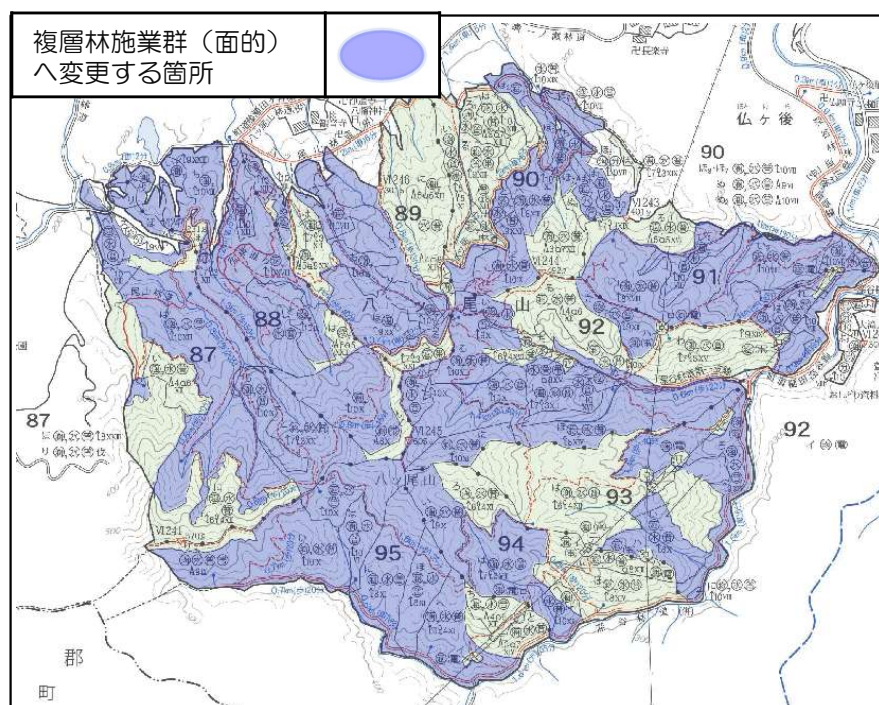
上谷山国有林（長浜市）

計画のポイント① 「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

- ◆ 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽による確実な更新より育成複層林へと誘導することとされています。
- ◆ 本計画区では、水源涵養^{かん}タイプの人工林のうち275.51haを、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群（面的）」へ変更します。

施 業 群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群(面的)	275.51	—	+275.51	長伐期施業群

【育成複層林へ誘導する国有林】



ハツ尾山国有林（多賀町）

計画のポイント②「山地災害への対応」

- ◆ 治山事業は、民有林治山事業と連携し、自然環境の保全への配慮や木材利用、コスト縮減等に努めながら、荒廃地の整備、災害復旧、保安林の整備等を計画的に実施しています。
- ◆ 本計画区では、豪雨等により被災した山地において溪間工などを設置するとともに、荒廃溪流箇所での溪間工を引き続き計画しています。

【荒廃した溪流に施工した溪間工】



河内山国有林（高島市）

【木材を利用して施工した溪間工】



杉山国有林（高島市）

計画のポイント③「特に保護を図るべき森林」

- ◆ 本計画区には、地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理する「生物群集保護林」を1箇所、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理する「希少個体群保護林」を1箇所設定しており、モニタリングや巡視を通じて厳格に保護・管理しています。

【保護林内のブナ巨木】



上谷山国有林（長浜市）

【保護林内登山道からの眺望】



山田山国有林（高島市）

【保護対象種のキンコウカ】



名 称	面積 (ha)	特 徴	国有林名 (市町村)
上谷山生物群集保護林（保存地区）	573.74	日本海型ブナ林の南限付近に位置し、海拔500mからブナ・ミズナラが優占的かつ広範囲に分布するブナ・ミズナラ群落の保護	上谷山 (長浜市)
三国山湿原植物希少個体群保護林	30.86	この地域が生育の西限となる希少な湿原植物群落の保護（キンコウカ外）	山田山 (高島市)

計画のポイント④「ニホンジカの被害対策」

- ◆ 本計画区はニホンジカの生息密度が高く、シカによる植栽木や下層植生の食害が発生していることから、防護柵設置等の被害対策や囲いわな捕獲等を行うとともに、関係機関・地元団体等と連携して被害対策に取り組みます。
- ◆ 米原市及び米原市鳥獣被害防止対策協議会とシカ被害対策推進協定を締結し、国有林並びに隣接する民有林において、連携して被害対策に取り組みます。

滋賀森林管理署における捕獲実績(全県データ)

※令和6年度は令和6年12月末の実績

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
捕獲頭数	7頭	103頭	204頭	238頭	105頭

【防護柵設置】



ハツ尾山国有林（多賀町）

【囲いわなで捕獲したニホンジカ】



奥伊吹国有林（米原市）

【協定者等と囲いわなを設置する様子】



奥伊吹国有林（米原市）

計画のポイント⑤「公衆の保健のための活用の推進」

- ◆ 保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」に選定し、森林レクリエーションの場として提供しています。
- ◆ 本計画区では、奥伊吹野外スポーツ地域を1箇所設定しており、スキーやハイキング等の場として多くの人々に利用されています。

種 類	名 称	国 有 林 名 (市 町 村)	面 積 (ha)	既 存 施 設
野外スポーツ地域	奥伊吹野外スポーツ地域	奥伊吹（米原市）	316.43	ゲレンデ、リフト等

【隣接民有地と一体となったスキー場の利用風景】



奥伊吹国有林（米原市）

【展望台から望む 滋賀第二の高峰^{かなぐそだけ}「金糞岳」】



奥伊吹国有林（米原市）

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	(21ha) 5,401m ³	—	複層林誘導のための伐採を計画したため、計画量が増加。
	間 伐	(389ha) 39,711m ³	(406ha) 40,410m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少。
更新総量	人工造林	18.68ha	1.97ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下 刈	41.08ha	5.91ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加。
	除 伐	1.97ha	—	対象箇所の増加に伴い、計画面積が増加。
林道事業	開 設	—	—	—
	改 良	51m	145m	修繕箇所の減少に伴い、計画量が減少。
治山事業	保全施設	7箇所	26箇所	荒廃地等復旧対象箇所の減少に伴い、計画量が減少。
	保安林の整備	242.65ha	144.60ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

主伐計画箇所



正楽寺山国有林（甲良町）

間伐計画箇所



大箕山国有林（長浜市）

② 山口森林計画区の地域管理経営計画等について（山口森林管理事務所）

国有林野の基本データについて

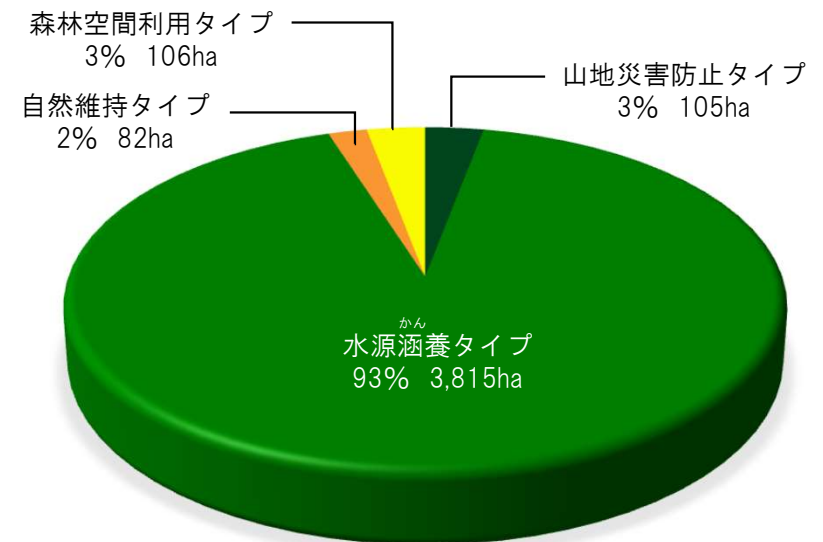
- ◆ 森林計画区の区域は、山口市をはじめとする5市となっています。
- ◆ 国有林野は4,107haであり、計画区総土地面積の2%、森林面積の3%を占めています。
- ◆ 山口市北東部に比較的大きな団地があり、山口市北西部に小面積の団地が点在しています。



森林計画区内における森林面積の割合

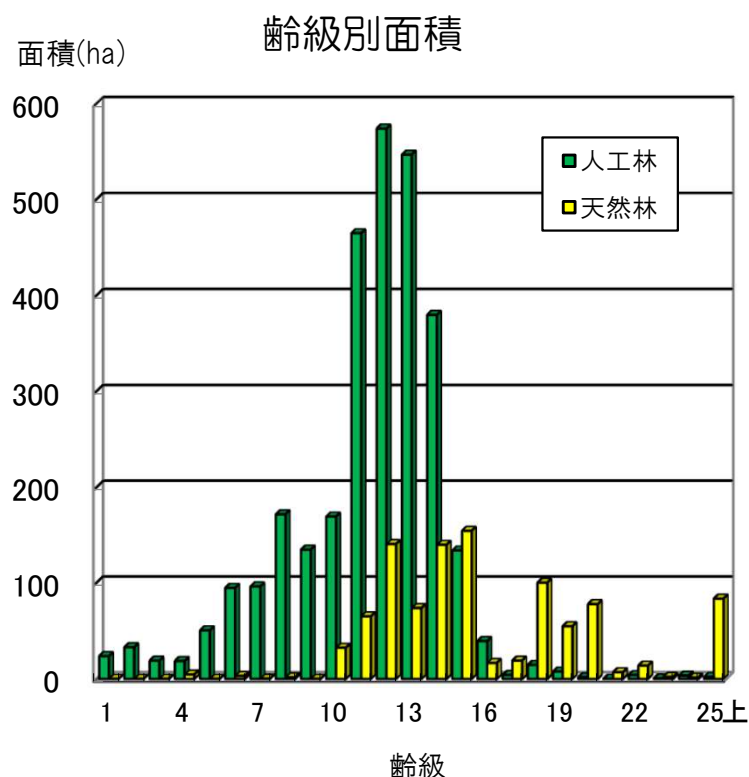


機能類型別森林面積



国有林野の特徴

- ◆ 国有林野の面積（林地）の75%が人工林であり、公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に努めることとしています。
- ◆ 本計画区の一部は「長門峡県立自然公園」に指定されており、渓谷など豊かな自然景観を有し、ハイキングや紅葉見物など森林を利用した保健休養の場として多くの人々に利用されています。



※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

【名勝 長門峡 「^{きりこ}切籠・^{きりまど}切窓」の断崖】



長門峡国有林（山口市）

計画のポイント① 「災害に強い国土基盤の形成に向けた機能類型の変更」

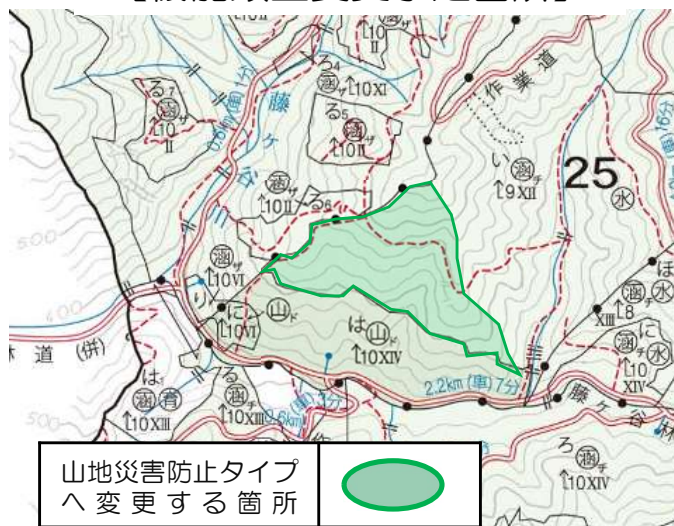
- ◆ 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の観点から、山腹崩壊危険地区に指定された6箇所（13.34ha）の機能類型を見直し、「山地災害防止タイプ」へ変更します。

【山地災害防止タイプへ変更する滑山国有林】

【山地災害危険地区位置図】



【機能類型変更予定箇所】



【岩や倒木が目立つ急傾斜な林内】



機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林名 (市町村)	変更前の機能類型
山地災害防止タイプ	104.50	91.16	+13.34	滑山（山口市）	水源涵養 ^{かん} タイプ

計画のポイント② 「森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止」

- ◆ 滑山国有林に自生する「滑マツ※」やその後継となるアカマツの被害については、地元自治体等と連携を密にして、被害の未然防止、早期発見・防除及びまん延防止対策の実施に努めます。

※ 「滑マツ」とは、滑山国有林に自生する樹齢200年生以上のアカマツの大径木。材の色合いが良く通直な銘木として、皇居新宮殿やかつては錦帯橋にも使用されていましたが現在は数が減少し、地域と連携した様々な取組や保全活動等が実施されています。

【滑山国有林（山口市）における松くい虫被害対策の取り組み等】

被害の未然防止のため、樹幹注入を毎年行っています。

（令和2年度から令和6年度までに樹幹注入を行ったアカマツは合計86本）

【請負事業体による樹幹注入】



【樹幹注入された滑マツ】

被害の早期発見・防除のため、県内有識者を中心とした「滑マツ保存会」による現地調査や職員等による巡視等を定期的に行っています。

【滑マツ保存会の巡視風景】



【遠望巡視】

松くい虫被害で枯れた滑マツは、令和4年に新築された山口市徳地総合支所等で活用され、地域の希少な銘木として市民への普及啓発等に貢献しています。

【支所に展示されている滑マツ】



【支所受付の仕切り材として使用されている滑マツ】

計画のポイント③ 「巨樹・巨木の保護」

- ◆ 次世代への財産として健全な形で残していくべき巨樹・巨木について、地域住民等による自主的な保全活動の推進を含め、表示板の設置、周辺森林環境の整備等の保護活動に努めます。
- ◆ 本計画区には、国有林の代表的な巨樹・巨木として「森の巨人たち100選」（全国の国有林を対象に林野庁が選定）に選定された「三本杉」があり、地元市町村等との連携の下、適切な保護管理に努めます。



滑山国有林（山口市）

「三本杉」		
樹 種	スギ	
推 定 樹 齢	300年以上	
樹 高	約46m	
幹 周	約4.6m、3.1m、5.1m	

【地元団体等による周辺施設の整備】



案内看板の清掃や支柱の交換作業



遊歩道木板の苔落としや手すりの補修

計画のポイント④ 「木の文化を支える森づくり」

- ◆ 歴史的木造建造物の修復資材は、特定の樹種の大径材、高齡級ヒノキひわだの檜皮などを活用しており、民有林からの供給が期待しづらいため、国有林野において「文化財継承林」として育成・備蓄する場を設定しています。
- ◆ 本計画区では、滑山国有林において、ケヤキの「文化財継承林」を設定しています。



滑山国有林（山口市）

文化財継承林

樹	種	ケヤキ
林	齡	98年生
面	積	1.21 ha



これらのケヤキは、滑山国有林内の稚樹を採取し苗畑で育成されたものが植栽されたものです。

計画のポイント⑤「森林環境教育の推進」

- ◆ 国有林野の豊かな森林環境を子どもたちに提供するため、学校、自治体、NPO、森林インストラクター等、多様な主体と連携しながら、森林と人とのふれあいの場の提供や森林環境教育に取り組めます。

【木工教室】



地元フェア（防府市）

【測量体験】



地元イベント（山口市）

【出前講座で年輪の説明】



山口市立生雲小学校（山口市）

【「滑マツ」やパネルの展示】



地元フェア（防府市）

【紙芝居上映】



地元イベント（山口市）

【業務紹介や森林調査の説明】



山口県立山口農業高等学校（山口市）

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	(206ha) 73,937m ³	(155ha) 55,382m ³	複層林誘導のための伐採指定を計画したため、計画量が増加。
	間 伐	(746ha) 92,594m ³	(803ha) 93,977m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少。
更新総量	人工造林	229.04ha	158.66ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下 刈	693.03ha	522.69ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加。
	除 伐	61.79ha	38.63ha	対象箇所の増加に伴い、計画面積が増加。
林道事業	開 設	2,770m	4,250m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少。
	改 良	13m	—	豪雨等による被害の増加に伴い、計画量が増加。
治山事業	保全施設	5箇所	2箇所	荒廃地等復旧対象箇所の増加に伴い、計画量が増加。
	保安林の整備	—	—	—

主伐（複層林への誘導）計画箇所



藤目谷国有林（山口市）

間伐計画箇所



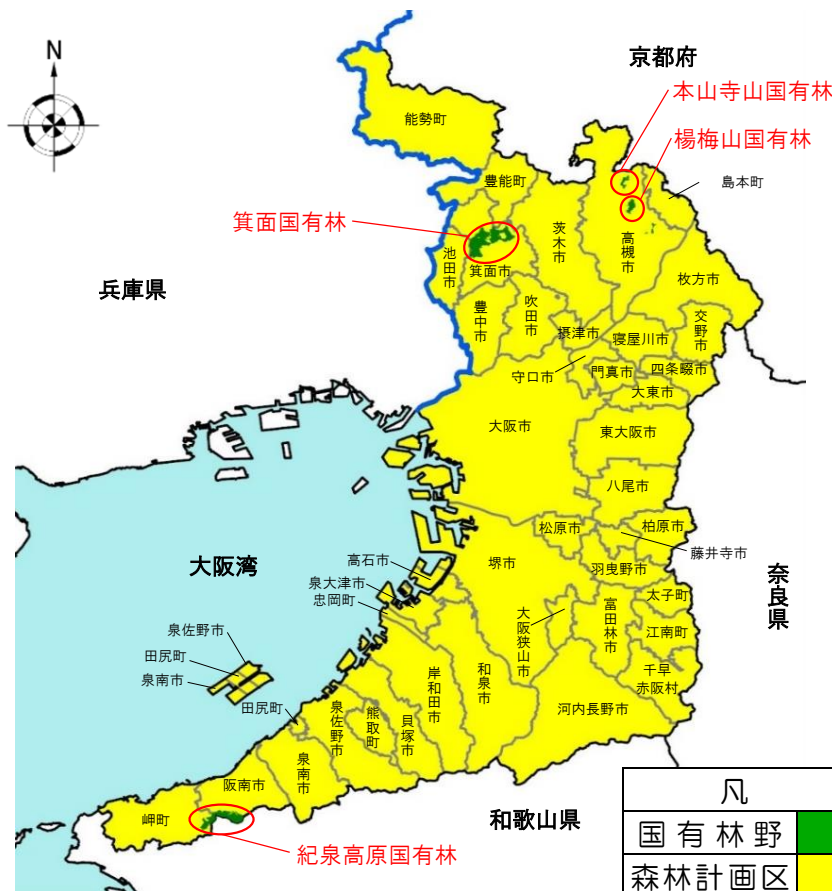
物見国有林（山口市）

（注）赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

③ 大阪森林計画区の地域管理経営計画等について（京都大阪森林管理事務所）

国有林野の基本データについて

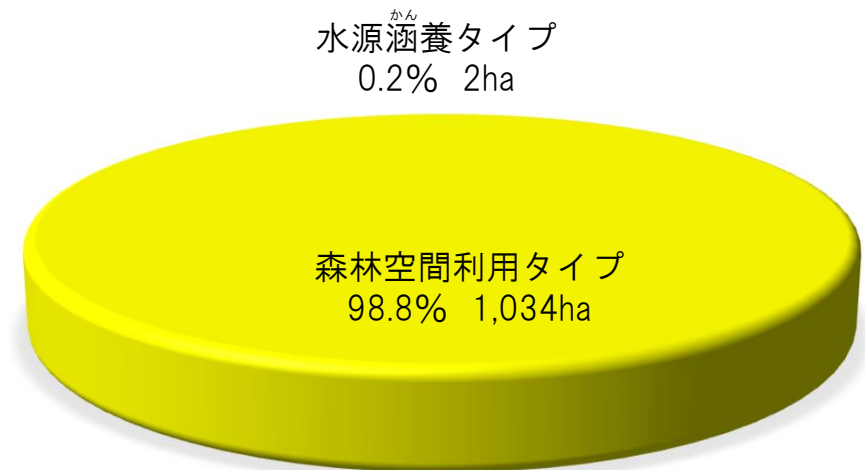
- ◆ 森林計画区の区域は、大阪府全域となっています。
- ◆ 国有林野は1,036haであり、計画区総土地面積の1%、森林面積の2%を占めています。
- ◆ 大阪府北部の箕面市及び和歌山県境の阪南市と岬町に比較的大きな団地が所在し、高槻市に小面積の団地が点在しています。



森林計画区内における森林面積の割合

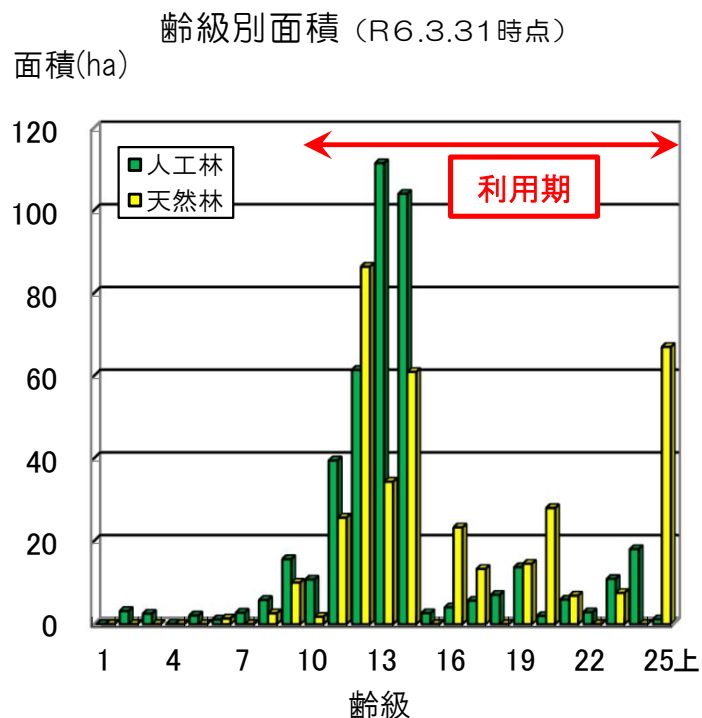
← 国有林野 2%	森林面積	: 56,854ha
	森 林 率	: 30%
総土地面積 : 190,533ha		

機能類型別森林面積



国有林野の特徴

- ◆ 人工林面積が569haと国有林野面積の約6割を占め、人工林の森林蓄積の9割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有しています。
- ◆ 一部の国有林野は、「明治の森箕面国定公園」や「大阪府立阪南・岬自然公園」に指定されており、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。
- ◆ 都市近郊林に位置することから森林環境教育プログラムの実践フィールドとして活用されており、様々な主体と連携しながら体験活動を実施しています。



※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

【明治の森箕面国定公園内の勝尾寺園地】



箕面国有林 (箕面市)

大阪都心から車で約1時間の距離にありながら豊かな生態系が育まれており、自然研究路（登山道）をはじめ、各所の園地には休憩施設等が整備されており、多くの人々が訪れています。

【森林環境教育】



箕面国有林 (箕面市)

環境教育プログラム「森の探検隊」にて参加者が、森にまつわるクイズの回答を考えています。本計画区の国有林野では、多様な体験活動が実施されています。

計画のポイント① 「台風被害からの復旧」

- ◆ 平成30年9月に上陸した台風21号の強風により、本計画区では箕面市の箕面国有林や高槻市の本山寺山国有林、楊梅山国有林等で大規模な風倒木被害が発生しました。
- ◆ 入山者の安全に影響のある場所から優先して風倒木整理や山腹工を実施しており、今後は既存の対応に加え、整理跡地の林地保全や景観に配慮し、スギ、ヒノキ及び広葉樹の植栽や天然更新を予定しています。

風倒木整理

山腹工

【整備前】



【整備後】



箕面国有林（箕面市）

楊梅山国有林（高槻市）

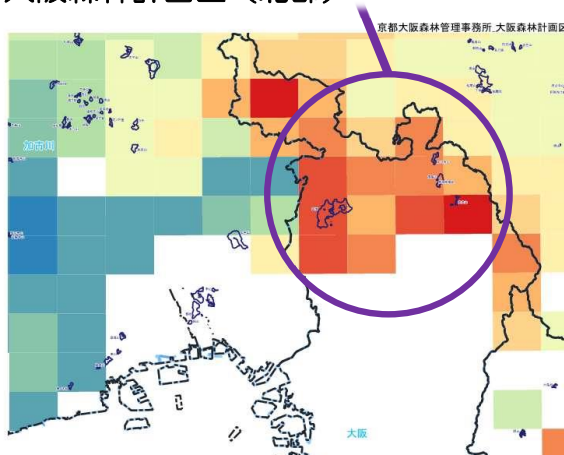
箕面国有林（箕面市）

計画のポイント② 「ニホンジカの被害対策」

- ◆ 本計画区は北部の北摂地域でニホンジカの生息密度が非常に高いことから、府市や地域ボランティアなどと連携して、防護柵設置・シカ捕獲等の被害防止対策を実施しています。
- ◆ 大阪府と共同して国有林内のシカの生息密度や植生被害状況調査を実施しています。
- ◆ シカの個体数管理については、捕獲を継続し、さらにくくり罠に接続した通信装置から捕獲通知が届くことにより、見回り不要となるシステムなど効率的な捕獲手法を推進します。

ニホンジカの推定生息密度図
(令和4年度当初)

大阪森林計画区(北部)



環境省報道発表資料より(一部加工)
(R6.3.22環境省HP公表)

【新植箇所周囲に設置した防護柵】



箕面国有林(箕面市)

【罠に接続している通信装置】



【自動撮影カメラによる生息密度調査】



本山寺山国有林(高槻市)

京都大阪森林管理事務所
管内における捕獲実績
(本計画区内)

年 度	捕獲頭数
令和2年度	72頭
令和3年度	72頭
令和4年度	117頭
令和5年度	110頭
令和6年度	43頭

【罠で捕獲したシカ】



本山寺山国有林(高槻市)

計画のポイント③ 「公衆の保健のための活用の推進」

- ◆ 保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」に選定して、森林レクリエーションの場として提供しています。
- ◆ 本計画区には、明治の森箕面自然休養林（日本美しの森お薦め国有林）や紀泉高原自然休養林があり、レクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています

【明治の森箕面自然休養林】

「箕面ビジターセンター」は、生物標本などの展示や季節に応じた自然情報の発信、自然解説員による公園案内及びコースの安全情報の提供などを行っている大阪府の施設です。



箕面ビジターセンター・箕面国有林（箕面市）

「勝尾寺園地」は、駐車場やエコトイレが整備され、各種森林イベントの拠点として活用されており、四季を通じてハイキングや森林浴を楽しむ多くの人々に利用されています。



箕面国有林（箕面市）

【紀泉高原自然休養林】

大阪府と和歌山県にまたがる紀泉アルプスとも呼ばれる山地に位置しています。最高峰の雲山峰（うんさんほう）や、大阪湾の雄大なパノラマが広がる俎石山（まないたいし）へ至る登山道は多くの人々に利用されています。



紀泉高原国有林（阪南市）

種 類	名 称	国有林名（市町村）	面積（ha）	施 設
自然休養林	明治の森箕面自然休養林 （日本美しの森お薦め国有林） にっぽんうつく	箕面（箕面市）	583.96	ビジターセンター 駐車場、遊歩道等
	紀泉高原自然休養林	紀泉高原（阪南市・岬町）	295.65	登山道、案内板

計画のポイント④ 「国民の参加による森林の整備」

- ◆ 「国民参加の森林づくり^{もり}」を推進するため、NPO等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供や必要な技術指導を行うなど、国有林野の積極的な利用を推進します。
- ◆ 本計画区では、ボランティア、NPO、企業等による自主的な森林づくり活動を支援するため、協定を締結して森林づくり等のフィールドを提供する「ふれあいの森」等を設定しています。

【小学生林業体験】



楊梅山国有林（高槻市）

【遊歩道の除草作業】



箕面国有林（箕面市）

【安全な伐倒の説明】



箕面国有林（箕面市）

【社会貢献の森での除伐作業】



箕面国有林（箕面市）

種 類	名 称	面 積 (ha)	協定相手方	国有林名（市町村）
ふれあいの森	高槻楊梅山ふれあいの森	38.02	高槻里山ネットワーク	楊梅山（高槻市）
	箕面ふれあいの森	49.90	特定非営利活動法人日本森林ボランティア協会	箕面（箕面市）
		24.68	大阪森林インストラクター会	
社会貢献の森	日本山岳会関西支部 本山寺山の森	49.52	公益社団法人日本山岳会関西支部	本山寺山（高槻市）
	連合大阪の森	0.40	日本労働組合総連合会大阪府連合会	箕面（箕面市）
遊々の森	遊々の森 きらきら	28.16	箕面市教育委員会	箕面（箕面市）

計画のポイント⑤ 「森林環境教育の推進」

- ◆ 国有林野が都市部に近い特色を活かし、NPOやボランティア団体と連携しながら森林環境教育に取り組み、他団体が実施する森林環境教育に対して技術的な指導や情報提供を行います。
- ◆ 森林学習体験の場としてのフィールド提供に取り組むとともに、都市部での出前授業や各種イベントで森林・林業の普及啓発に努めます。
- ◆ 小学校～大学・林業大学校等の教育機関等と連携し、学生等への森林環境教育を推進します。

【カブトムシ里親まつり】

NPOとの共催でカブトムシの飼育を通じて命の大切さを学びます。



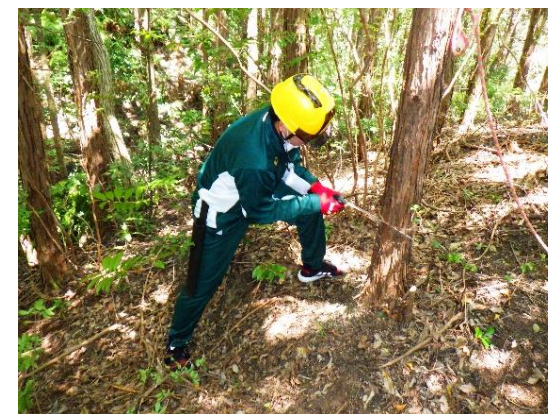
【イベントでの普及啓発活動】

紙芝居やクラフト体験を通じて森林の働きや資源について知ってもらいます。



【近畿大学学生への森林環境教育】

森林環境教育プログラムの体験により森林やシカ被害防止への理解を深めます。



箕面国有林（箕面市）



山と緑のフェスティバル（箕面市）



箕面国有林（箕面市）

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	—	—	—
	間 伐	(234ha) 28,252m ³	(200ha) 23,292m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加。
更新総量	人工造林	5.43ha	—	台風被害跡地の更新に伴い、計画面積が増加。
	天然更新	2.54ha	—	台風被害跡地の更新に伴い、計画面積が増加。
保育総量	下 刈	16.29ha	4.25ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加。
	除 伐	2.39ha	2.60ha	対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少。
林道事業	開 設	—	—	—
	改 良	40m	—	豪雨等による被害の増加に伴い、計画量が増加。
治山事業	保全施設	—	—	—
	保安林の整備	10.01ha	—	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

間伐計画箇所



箕面国有林（箕面市）

植栽計画箇所



楊梅山国有林（高槻市）

④ 江の川下流森林計画区の地域管理経営計画等について（島根森林管理署）

国有林野の基本データについて

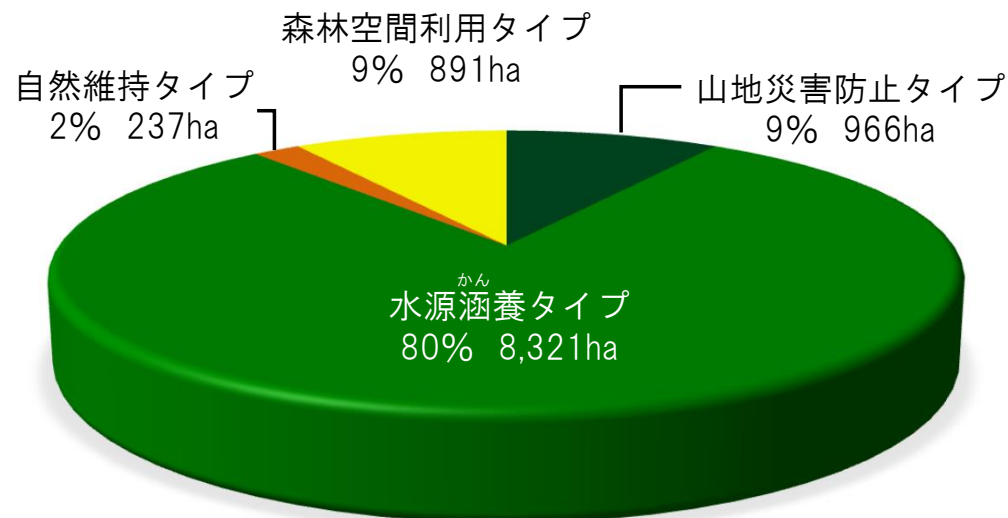
- ◆ 森林計画区の区域は、島根県中部の3市3町となっています。
- ◆ 国有林野は10,415haであり、計画区総土地面積の5%、森林面積の6%を占めています。
- ◆ 江の川周辺に比較的大きな団地があるほか、広島県境の中国山地にも小面積の団地が散在しています。



森林計画区内における森林面積の割合



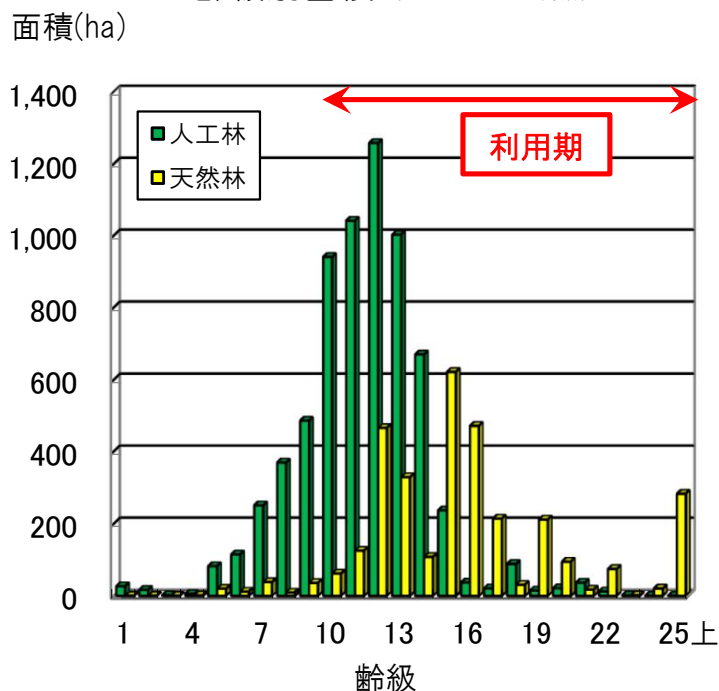
機能類型別森林面積



国有林野の特徴

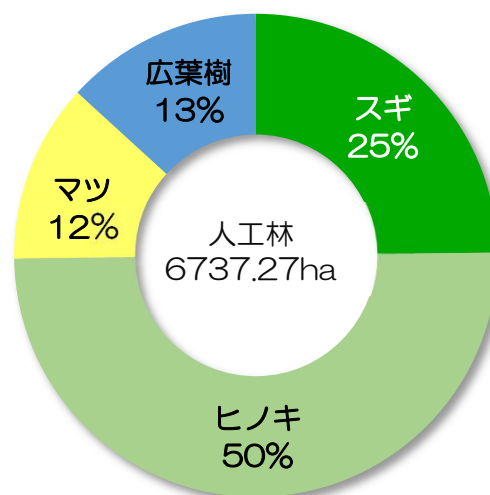
- ◆ 人工林面積が6,737haと国有林野面積の67%を占め、人工林の森林蓄積のうち約9割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有しています。
- ◆ 人工林ではスギ・ヒノキの面積が75%を占め、公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に努めることとしています。
- ◆ 一部の国有林野は「大山隠岐国立公園」や「西中国山地国定公園」に指定され、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。

齢級別面積（R6.3.31時点）



※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

樹種別面積割合



【カキツバタ咲く姫逃池から望む三瓶山】

三瓶山は出雲の国風土記にも登場するなど古くから親しまれた存在で、山域の大部分が国有林となっています。国有林全域が「大山隠岐国立公園」に指定され、一部は三瓶山自然林として天然記念物にも指定されるなど豊かな自然環境を有しています。

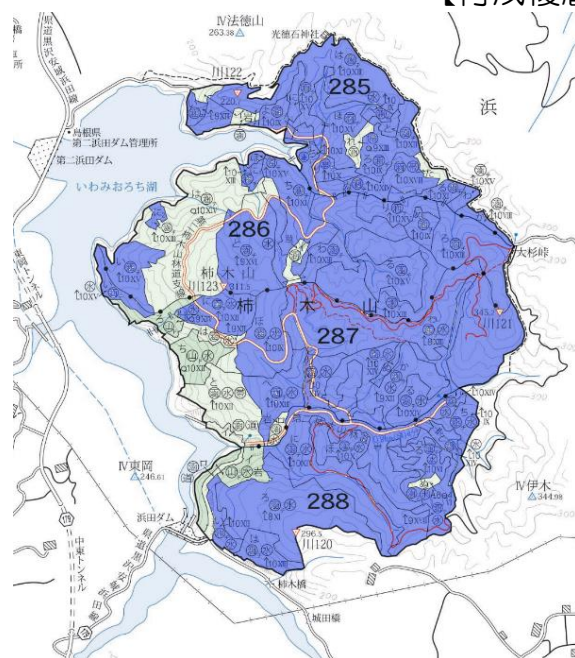


三瓶山国有林（大田市）

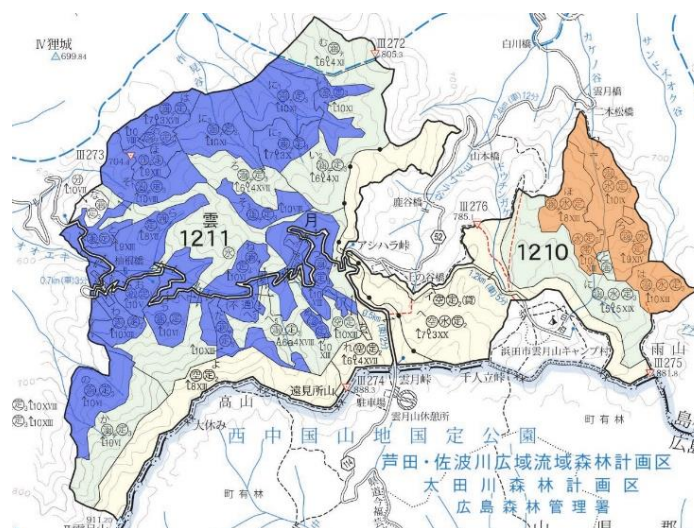
計画のポイント① 「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

- ◆ 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽による確実な更新より育成複層林へと誘導することとされています。
- ◆ 本計画区では、水源涵養^{かん}タイプの人工林のうち305.10haを、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群」及び「複層林施業群（面的）」へ変更します。

【育成複層林へ誘導する国有林】

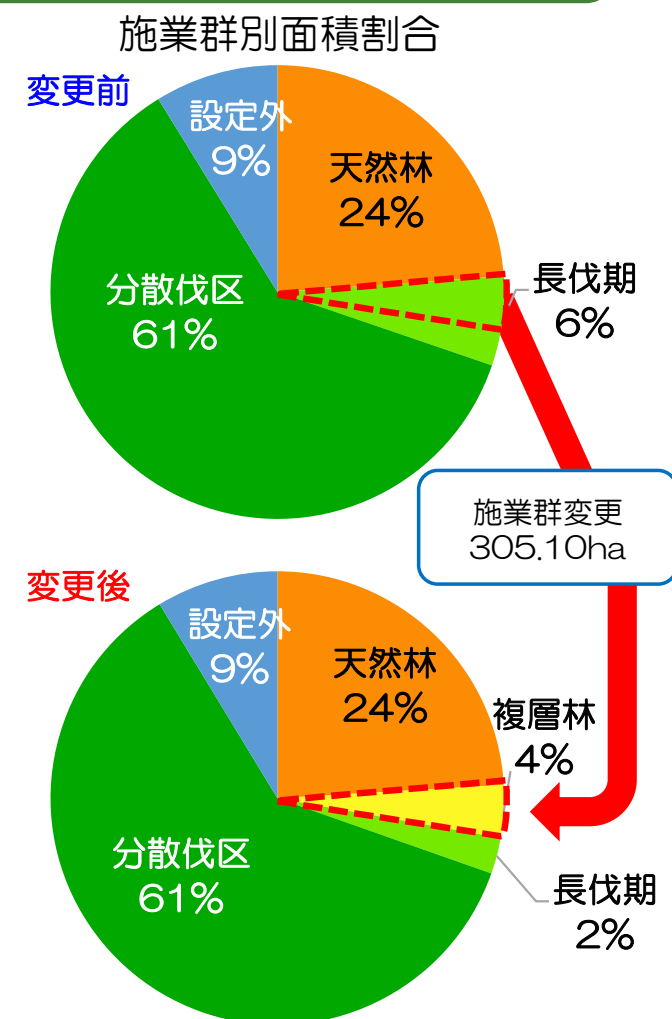


柿木山国有林（浜田市）



雲月国有林（浜田市）

複層林施業群（面的）へ変更する箇所	
複層林施業群へ変更する箇所	



施 業 群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群 複層林施業群（面的）	305.10	—	+305.10	長伐期施業群

※複層林は複層林施業群及び複層林施業群（面的）

計画のポイント② 「民有林と連携した施業の推進」

- ◆ 地域における施業集約化の取組を支援するため、民有林と連携することで事業の効率化や森林経営管理制度の導入に資する区域については、森林整備協定を締結するとともに森林共同施業団地を設定しています。
- ◆ 本計画区では4箇所では協定を締結し、民有林と連結した路網の整備と相互利用の推進、民有林と協調を図りつつ計画的な間伐等や現地検討会などを通じた民有林への森林・林業技術の普及に取り組みます。

【実技講習会の様子】

名称 (所在市町)	対象地		連携して 行う取組み
潮・今山・曲山 地域森林 共同施業団地 (美郷町)	民有林	245ha	—
	国有林	165ha	今山、曲山国有林
田之原・挽木山 地域森林 共同施業団地 (美郷町)	民有林	344ha	—
	国有林	20ha	挽木山国有林
柿木山地域森林 共同施業団地 (浜田市)	民有林	142ha	—
	国有林	182ha	柿木山国有林
雲井山北 地域森林 共同施業団地 (浜田市)	民有林	145ha	—
	国有林	61ha	雲井山国有林

効率的な路網の
配置と高性能林
業機械との組み
合わせによる計
画的な森林施
業の実施



大田市市有林（大田市）

令和5年8月30日、島根森林管理署が林業関係団体職員や県・大田市職員を対象に「ドローンを活用した森林調査の実技講習会」を実施しました。講習会では、署職員等が新型ドローンの実演や地上型レーザスキャナ調査の紹介を行いました。

計画のポイント③ 「木材の供給」 及び 「木材の販売」

- ◆ 恵まれた人工林資源を有効活用するため、適正な森林整備を通じ木材の安定供給に取り組みます。
- ◆ 木材の供給に当たっては、列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた効率的な森林整備を進めるとともに、自然条件・社会的条件を考慮して主伐を実施します。
- ◆ 木材の販売に当たっては、協定を締結した需要者に直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することで、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。

【森林作業道の作設作業】

丸太の運搬、機械の移動等で利用する森林作業道を作設します。



佐比売国有林（大田市）

【ハーベスタによる伐採・造材作業】

根元から切り倒した後、枝葉を取り除き、丸太に加工します。



佐比売国有林（大田市）

【フォワーダによる運材作業】

森林作業道を利用して、丸太をトラック積込場所まで運搬します。



佐比売国有林（大田市）

【搬出した丸太を集積】

林内から運搬した丸太を、トラックへの積込が可能な場所へ集積します。



今山国有林（美郷町）

【木材市場での委託販売】

運ばれた丸太を、樹種・長級・径級・品質・直曲材等ごとに仕分けし、セリ等によって販売します。



大田市木材市場（大田市）

計画のポイント④「公衆の保健のための活用の推進」

- ◆ 本計画区では「レクリエーションの森」である「三瓶山風致探勝林」及び「三ツ石山風景林」等を設定しています。
- ◆ 三瓶山風致探勝林は、ブナ林などの自然林や草原などが知られる三瓶山に位置します。国有林内には、展望台や多数の登山道が整備されています。麓にはキャンプ場や温泉、自然博物館などもあり、ハイキングや自然観察などを楽しむ多くの人々に利用されています。
- ◆ 三ツ石山風景林は広島県境の中国山地脊梁地に位置し、隣接するスキー場の景観林にもなっています。

【三瓶山風致探勝林】

早春に野焼きが行われる西の原から望む三瓶山。四季折々の風景を楽しめます。



三瓶山国有林（大田市）

山頂付近はススキを主とした風衝草原で、眺望に優れ遠くは日本海まで見渡せます。



三瓶山国有林（大田市）

【三ツ石山風景林】

溪流沿いの歩道からは滝や溪畔林などが見られます。



三ツ石山国有林（浜田市）

種類	名 称	国有林名（市町村）	面積（ha）
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	三ツ石山野外スポーツ地域	三ツ石山（浜田市）	125.96
風 景 林	三ツ石山風景林	三ツ石山（浜田市）	243.34
風 致 探 勝 林	三瓶山風致探勝林	三瓶山（大田市）	478.10

計画のポイント⑤「森林環境教育の推進」

- ◆ 国有林野の豊かな森林環境を子どもたちに提供するため、学校、自治体、NPO、森林インストラクター等と連携し、森林環境教育に取り組めます。

【丸太切り体験】



浜田水産高校（浜田市）

【森の素材を使った表札づくり】



北三瓶小学校（大田市）

【美郷町の森林についての解説】



大和中学校（美郷町）

【飛ぶ種子の模型作り】



さんべ祭（大田市）

【森林による浄水機能の実演】



SEA TO SUMMIT in 三瓶（大田市）

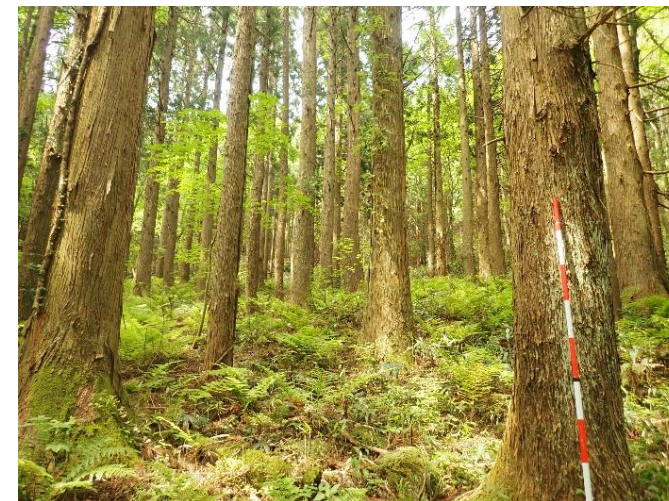
新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	(336ha) 117,487m ³	(310ha) 102,127m ³	主伐を行う対象林分の増加に伴い、計画量が増加。
	間 伐	(1,364ha) 153,735m ³	(1,357ha) 135,015m ³	利用間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加。
更新総量	人工造林	333.74ha	243.14ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加。
	天然更新	—	4.91ha	対象箇所の減少に伴い、計画なし。
保育総量	下 刈	1,047.48ha	799.54ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加。
	除 伐	31.70ha	12.40ha	対象箇所の増加に伴い、計画面積が増加。
林道事業	開 設	1,100m	2,500m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少。
	改 良	—	5箇所	修繕箇所の減少に伴い、計画なし。
治山事業	保全施設	8箇所	12箇所	荒廃地等復旧対象箇所の減少に伴い、計画量が減少。
	保安林の整備	—	51.73ha	整備対象森林の減少に伴い、計画なし。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

主伐（複層林への誘導）予定箇所



雲月国有林（浜田市）

間伐予定箇所

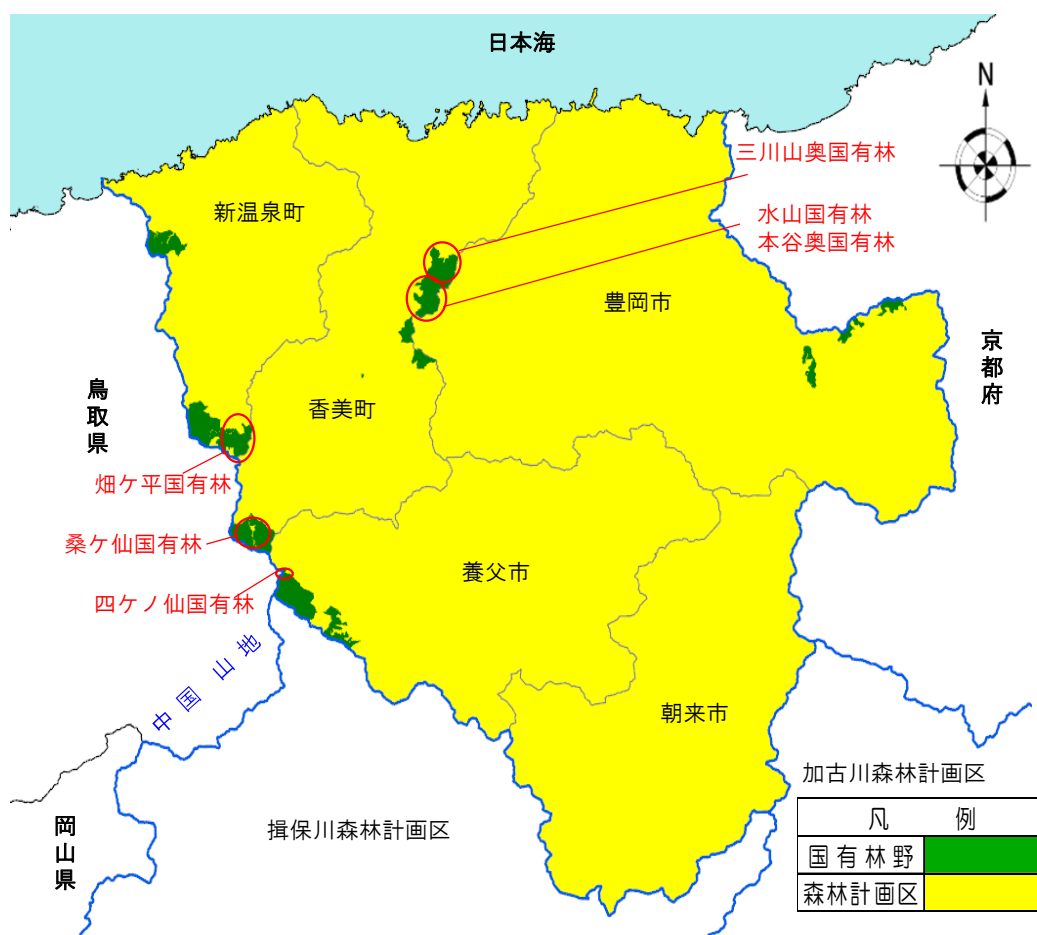


程原国有林（美郷町）

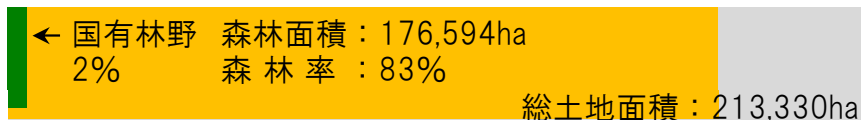
⑤ 円山川森林計画区の地域管理経営計画等について（兵庫森林管理署）

国有林野の基本データについて

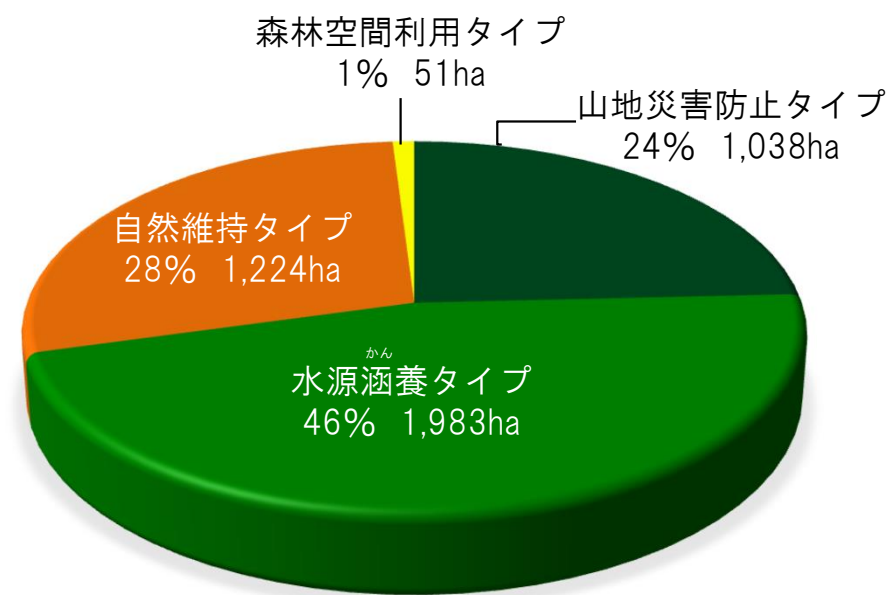
- ◆ 森林計画区の区域は、兵庫県北部の3市2町となっています。
- ◆ 国有林野は4,296haであり、計画区総土地面積の2.0%、森林面積の2.4%を占めています。
- ◆ 兵庫県北西部の中国山地脊梁部や、北東部の県境付近のほか、香美町に散在しています。



森林計画区内における森林面積の割合



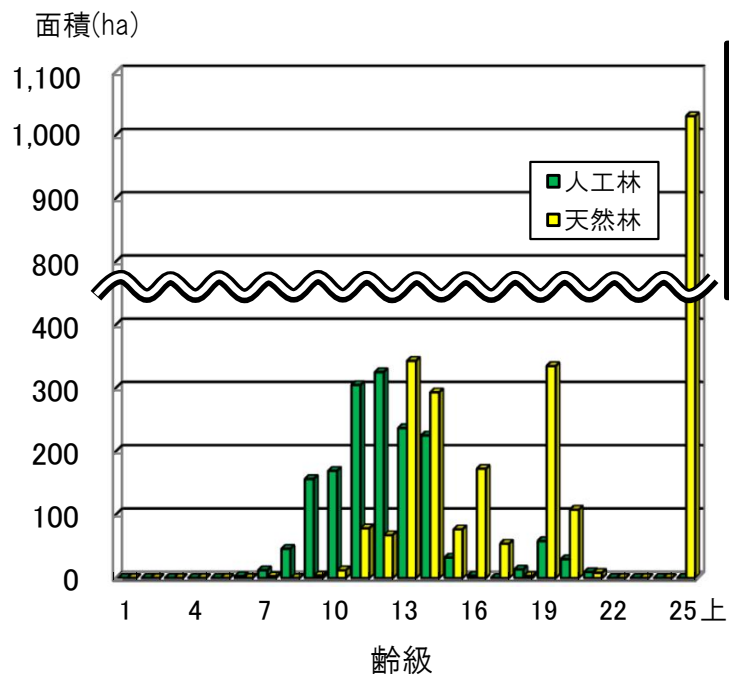
機能類型別森林面積



国有林野の特徴

- ◆ 国有林野面積の93%が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源涵養機能の一端を担っています。
- ◆ 計画区内の国有林野は、「氷ノ山後山那岐山国定公園」や「但馬山岳県立自然公園」等の一部を形成し、多様な森林景観を有すことから、登山やハイキングなど保健休養の場として多くの人々に利用されています。
- ◆ 国有林野の一部は保護林に設定しており、自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保存など、希少な野生生物の生育・生息環境の保全などに取り組んでいます。

齢級別面積（R6.3.31時点）



※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

【保護林内の天然記念物（古生沼）】



天然記念物である「古生沼の高地湿原植物群落」は、氷河期時代の生き残りと言われる貴重な植物（ヤチスゲ、ツマトリソウ等）が生育しています。

四ヶノ仙国有林（養父市）

【古生沼へのシカ進入防止柵設置活動】



「植生保護の推進に関する協定」の活動として、養父市と兵庫県生物学会会員や地元ボランティアと連携し、シカの進入を防ぐ柵の補修や、積雪による網の破損を避けるため冬期に下していた網を上げる作業を実施しています。

計画のポイント① 「特に保護を図るべき森林」

- ◆ 原始的な天然林、地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護林として設定し、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。
- ◆ 新計画では生物群集保護林を1箇所新設、2つの希少個体群保護林を統合するとともに拡充し、既存のものを含めて計4箇所の保護林を設定します。

【三川山奥生物群集保護林（新設）】

【水山本谷奥ブナ・ナツツバキ希少個体群保護林（統合・拡充）】

【ナツツバキのシカ食害】



三川山奥国有林（香美町）



水山国有林（香美町）



名 称	面積 (ha)	特 徴	国有林名 (市町村)
氷ノ山・三の丸生物群集保護林 (保存地区)	225.48	日本海側における西限付近のブナ・オオバクロモジ群落の天然林の保護	四ケノ仙・奥山 (養父市)
三川山奥生物群集保護林 (保存地区)（新設）	365.92	高標高域のブナ林が低標高域のウラジロガシ林に直接接続する、特異的な垂直分布を有する貴重な天然林の保護	三川山奥 (香美町)
四ケノ仙奥山高地湿原植物等 希少個体群保護林	4.31	中国地方の代表的なスギ天然林相（古千本・千本杉）の保護及び貴重な古生沼高地湿原の保護	四ケノ仙・奥山 (養父市)
水山本谷奥ブナ・ナツツバキ 希少個体群保護林（統合・拡充）	203.08	若齢級から高齢級のブナ及び尾根筋にナツツバキが混生する天然林の保護	水山・本谷奥 (香美町)

計画のポイント① 「特に保護を図るべき森林」

- ◆ 個々の保護林等を連結する「緑の回廊」を設定して、野生生物の生育・生息地の確保と相互交流を可能とし、より効果的に森林生態系の保護・保全を図ります。
- ◆ 揖保川、千代川森林計画区の保護林と畑ヶ平、桑ヶ仙、奥山国有林の保護林を連結する「東中国山地緑の回廊」を1,503ha設定しており、令和6年度に畑ヶ平国有林において384haの拡充を行いました。

【東中国山地緑の回廊拡充箇所】



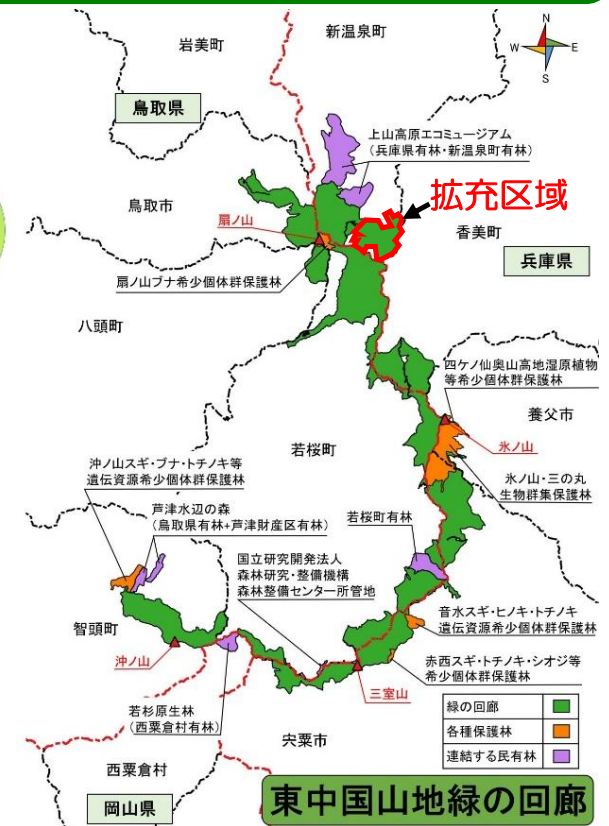
畑ヶ平国有林（新温泉町）



【緑の回廊拡充箇所の林内状況】



畑ヶ平国有林（新温泉町）



名 称	国有林面積 (ha)	民有林面積 (ha)	特 徴	主な山岳
東中国山地緑の回廊	全体面積 6,759 うち本計画区 1,503	873	兵庫、鳥取、岡山の3県にまたがって設定。 西限付近のブナ林やスギ天然林が存在。 他の回廊に比べ人工林が多く、区域内に民有林を含む。 イヌワシやツキノワグマの地域個体群が存在。	氷ノ山、 扇ノ山、 沖ノ山、 三室山

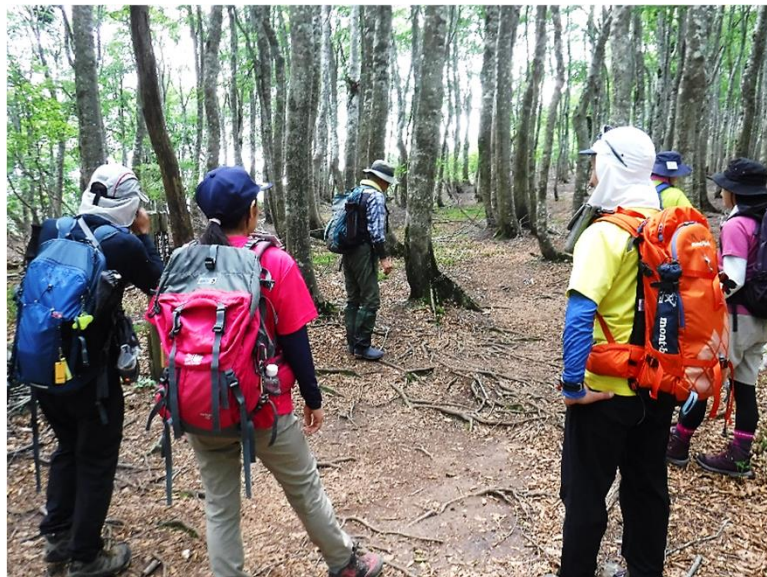
計画のポイント② 「国民の参加による森林の整備」

- ◆ 「国民参加の森林づくり^{もり}」を推進するため、NPO等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供や必要な技術指導を行うなど、国有林野の積極的な利用を推進します。

種 類	名 称	国 有 林 名 (市 町 村)	面 積 (ha)
ふれあいの森	畑ヶ平ふれあいの森	畑ヶ平（新温泉町）	18.40
多様な活動の森	未 定	畑ヶ平（新温泉町）	16.57

注：畑ヶ平国有林の「多様な活動の森」における活動の実施主体の選定は、公募等により募集します。

【ふれあいの森：自然観察会の様子】



【多様な活動の森：希少植物を保護するための防護柵点検】



畑ヶ平国有林（新温泉町）

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	—	—	—
	間 伐	(596ha) 55,334m ³	(563ha) 52,117m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加。
更新総量	人工造林	—	0.61ha	主伐未計画に伴い、計画なし。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下 刈	—	1.83ha	対象箇所減少に伴い、計画なし。
	除 伐	—	—	—
林道事業	開 設	—	—	—
	改 良	—	—	—
治山事業	保全施設	4箇所	5箇所	荒廃地等復旧対象箇所の減少に伴い、計画量が減少。
	保安林の整備	8.31ha	0.76ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

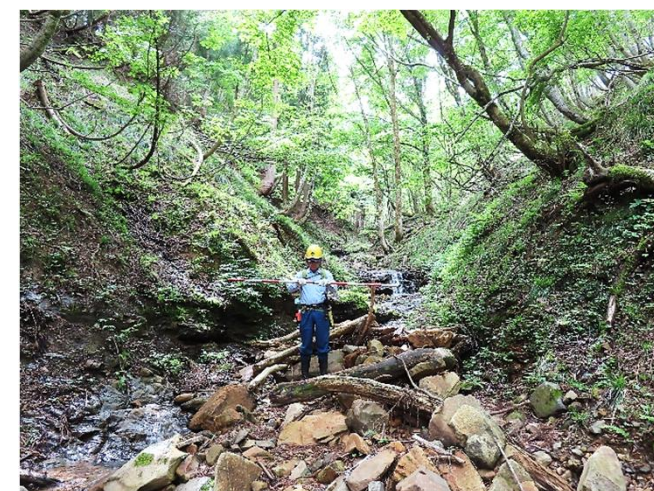
青字：現計画より計画量が減少

間伐計画箇所



水山国有林（香美町）

治山事業（溪間工）計画箇所

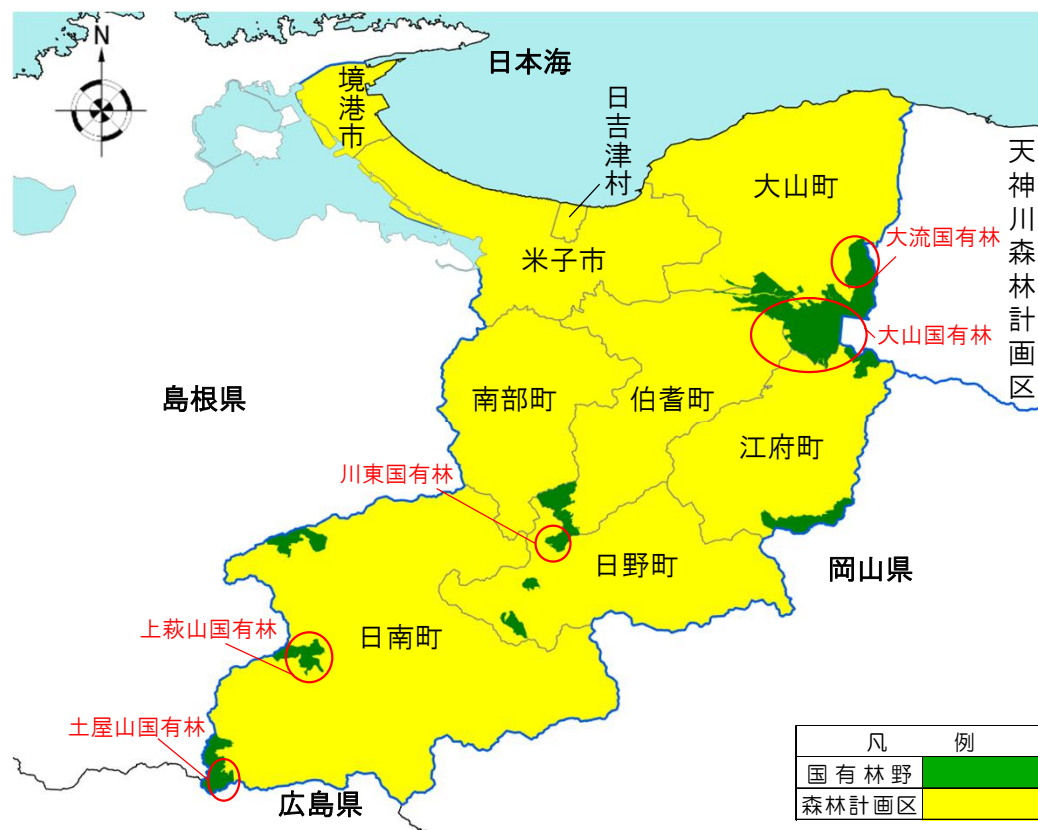


桑ヶ仙国有林（香美町）

⑥ 日野川森林計画区の地域管理経営計画等について（鳥取森林管理署）

国有林野の基本データについて

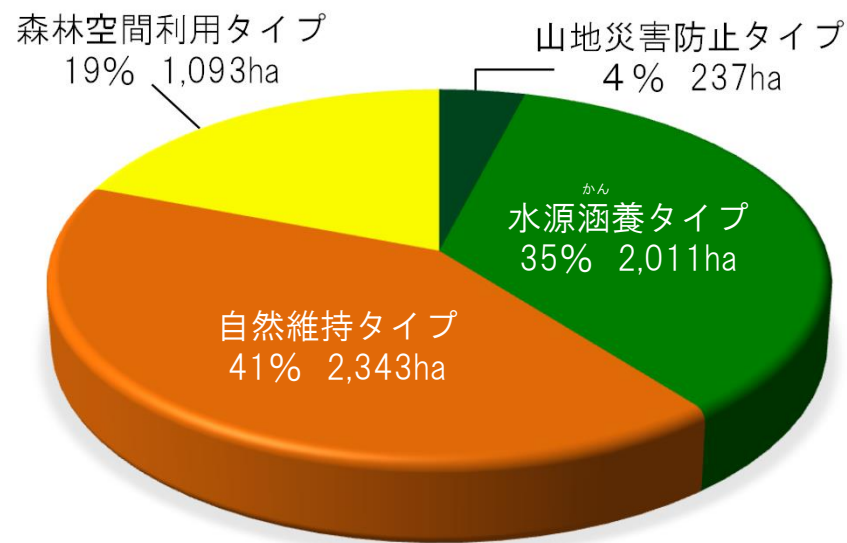
- ◆ 森林計画区の区域は、鳥取県西部の2市6町1村となっています。
- ◆ 国有林野は5,684haであり、計画区総土地面積の5%、森林面積の7%を占めています。
- ◆ 鳥取県西部の大山町を中心に比較的大きな団地があり、南部に小面積の団地が点在しています。



森林計画区内における森林面積の割合



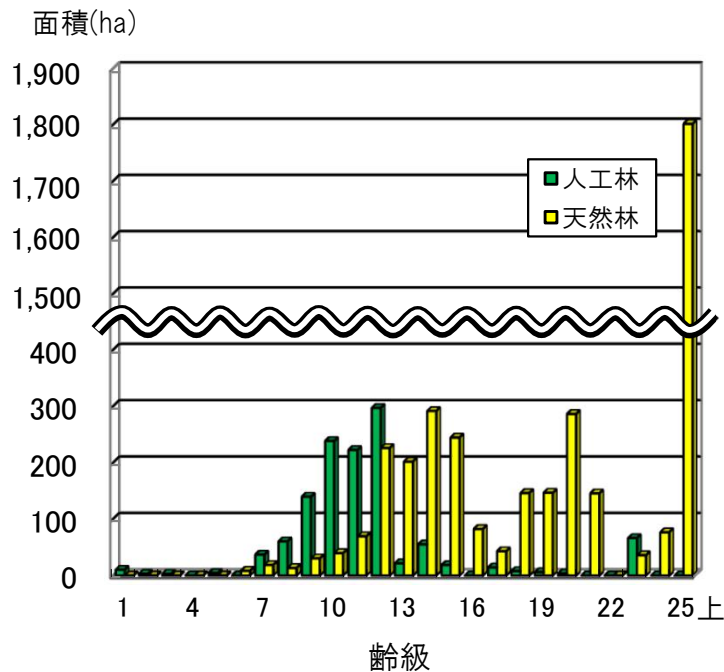
機能類型別森林面積



国有林野の特徴

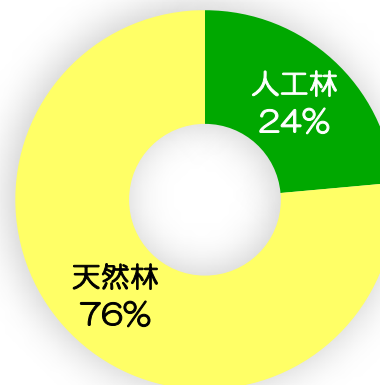
- ◆ 国有林野の人工林率は24%と低い水準にありますが、天然林が76%を占め、多様な森林景観や豊かな観光資源を有しています。
- ◆ 国有林野の一部は「大山隠岐国立公園」等に指定されており、ハイキングなど森林を利用した保健休養やスキーなどレクリエーションの場として多くの人々に利用されています。

齢級別面積（R6.3.31時点）

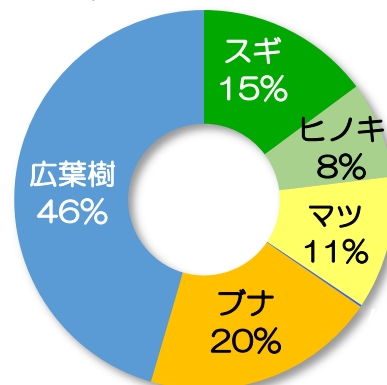


※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

人天別面積割合



樹種別面積割合



【レクリエーションの森 豪円山野外スポーツ地域】



大山国有林（大山町）

計画のポイント①「治山事業」

- ◆ 治山事業は、民有林治山事業と連携し、自然環境の保全への配慮や木材利用、コスト縮減等に努めながら、荒廃地の整備、災害復旧、保安林の整備等を計画的に実施します。
- ◆ 本計画区の大山国有林では大正6年（1917年）から治山事業が続いています。大山国有林では頂上付近の荒廃地等から大量の土砂が発生するため、多くの箇所では山腹工と溪間工を実施しています。

【溪間工（床固工）復旧状況】



【溪間工（護岸工）復旧状況】

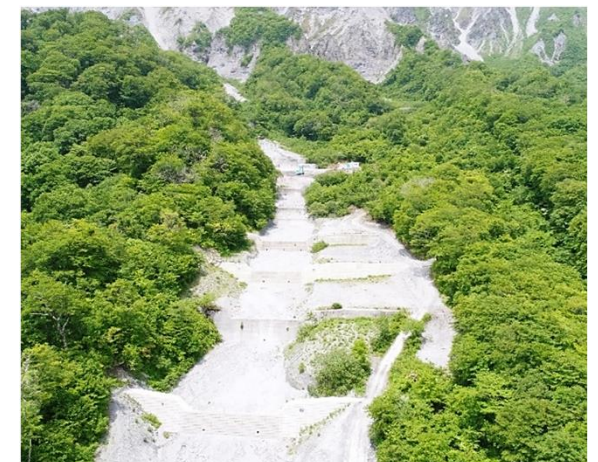


大山国有林（大山町）

【二ノ沢に施工した溪間工】



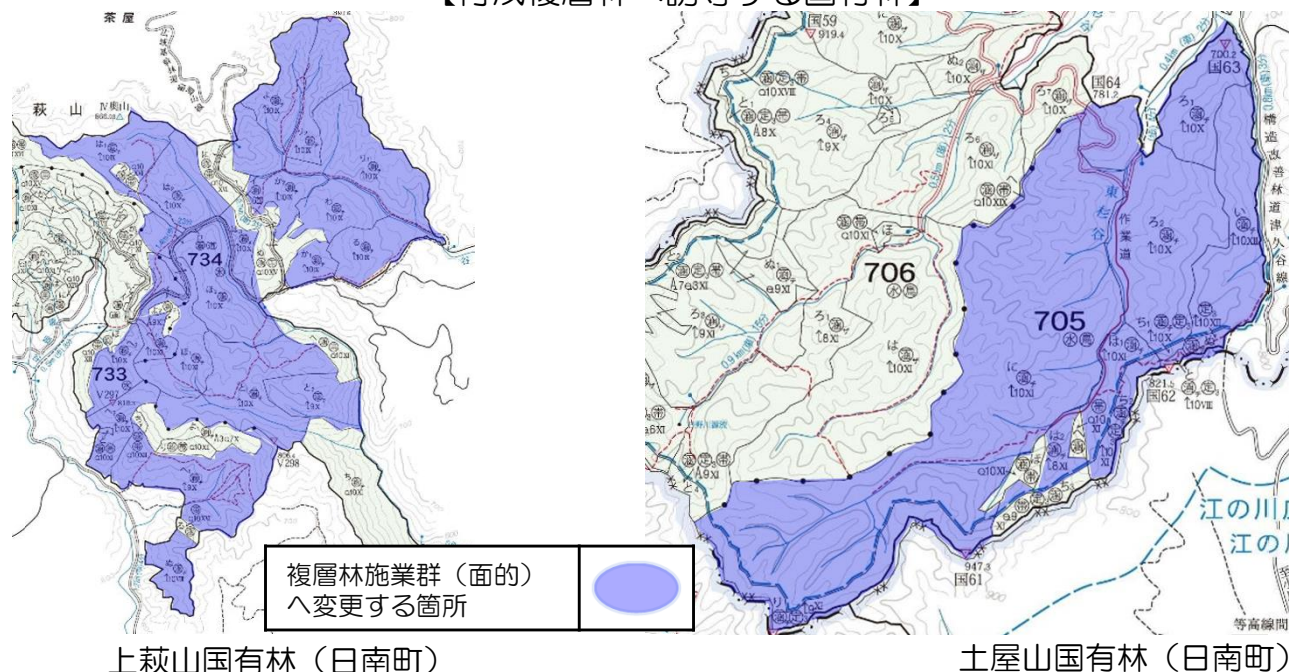
【三ノ沢に施工した溪間工】



計画のポイント②「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

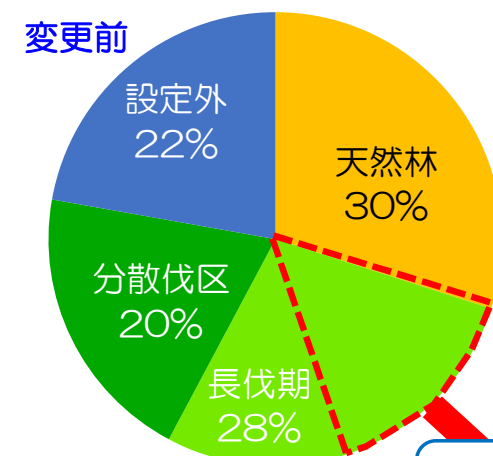
- ◆ 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽による確実な更新により育成複層林へと誘導することとされています。
- ◆ 本計画区では、水源涵養^{かん}タイプの人工林のうち285.08haを、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群」及び「複層林施業群（面的）」へ変更します。

【育成複層林へ誘導する国有林】

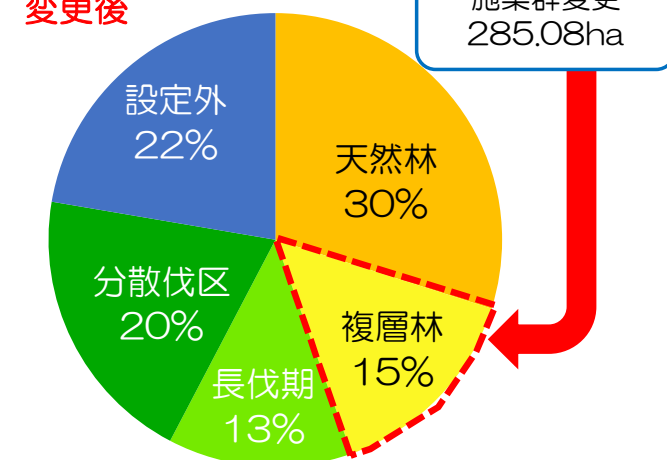


施業群別面積割合

変更前



変更後



施 業 群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群	3.14	—	+3.14	長伐期施業群
複層林施業群 （面的）	281.94	—	+281.94	長伐期施業群

※複層林は複層林施業群及び複層林施業群(面的)

計画のポイント③ 「森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止」

- ◆ 鳥取県中西部大山山系ではカシノナガキクイムシによる被害や、日本海沿岸部の国有林では松くい虫による被害が例年発生しています。防除の実施に当たっては自然環境の保全に十分留意するとともに、地元自治体等とも連携しつつ、被害のまん延防止対策の実施に努めます。

【立木被覆によるまん延防止対策】



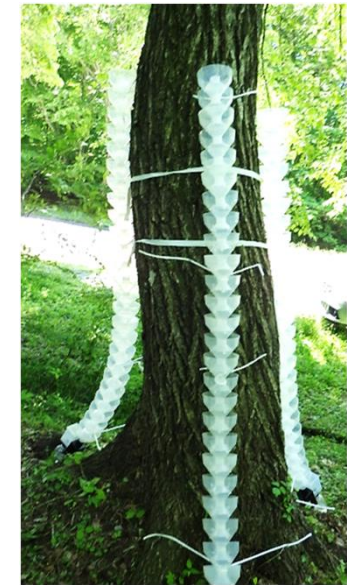
大山国有林（大山町）

【被害木の伐倒駆除】



大山国有林（大山町）

【カシナガトラップによる誘引防除】



大山国有林（大山町）

病虫害	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な市町村
カシノナガキクイムシ	8.50ha	1.59ha	0.04ha	大山町
松くい虫	—	0.01ha	0.09ha	大山町

計画のポイント④「国民の参加による森林の整備」

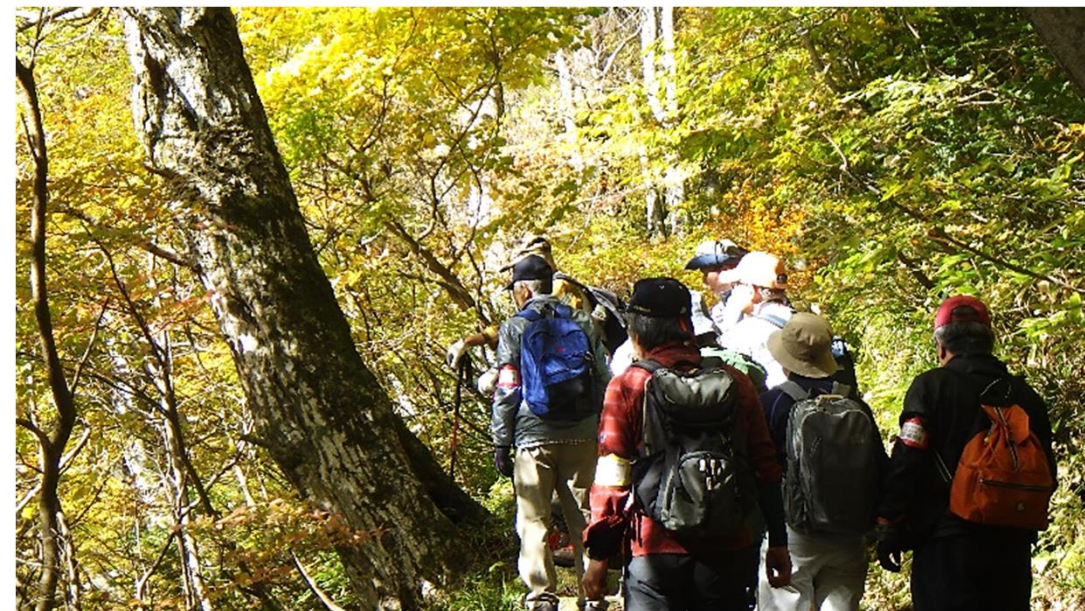
- ◆ 「国民参加の森林づくり」を推進するため、NPO等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供や必要な技術指導を行うなど、国有林野の積極的な利用を推進します。
- ◆ 本計画区では、ボランティア、NPO、企業等による自主的な森林づくり活動を支援するため、協定を締結してフィールドを提供する「ふれあいの森」を設定しています。

種 類	名 称	国 有 林 名 (市 町 村)	面 積 (ha)
ふれあいの森	大山ふれあいの森	大 山 (大山町)	38.53
ふれあいの森	サントリー「天然水の森奥大山」	鏡ヶ成 (江府町)	173.68

【大山ふれあいの森：森林保全活動のブナ植樹】



【大山ふれあいの森：自然観察会】



大山国有林（大山町）

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	(51ha) 9,175m ³	(69ha) 9,637m ³	主伐を行う対象林分の減少に伴い、計画量が減少。
	間 伐	(456ha) 48,489m ³	(415ha) 43,148m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加。
更新総量	人工造林	23.64ha	20.12ha	現計画の未新植に伴い、計画面積が増加。
	天然更新	28.55ha	40.17ha	対象箇所減少に伴い、計画面積が減少。
保育総量	下 刈	76.46ha	62.30ha	人工造林の増加に伴い、計画面積が増加。
	除 伐	7.77ha	3.69ha	対象箇所増加に伴い、計画面積が増加。
林道事業	開 設	900m	—	森林作業道からの格上げに伴い、計画量が増加。
	改 良	—	—	—
治山事業	保全施設	14箇所	20箇所	荒廃地等復旧対象箇所の減少に伴い、計画量が減少。
	保安林の整備	—	7.50ha	整備対象森林の減少に伴い、計画なし。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

主伐計画箇所



土屋山国有林（日南町）

間伐計画箇所

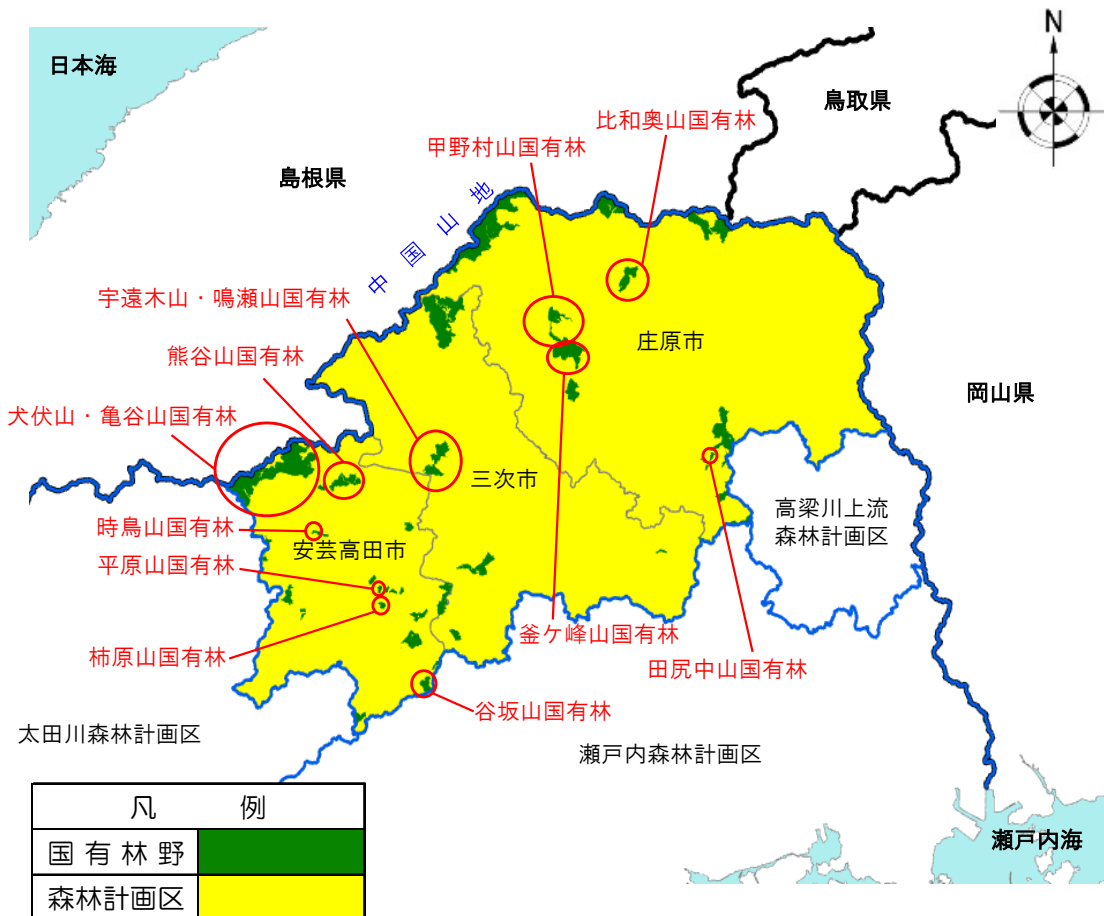


上萩山国有林（日南町）

⑦ 江の川上流森林計画区の地域管理経営計画等について（広島北部森林管理署）

国有林野の基本データについて

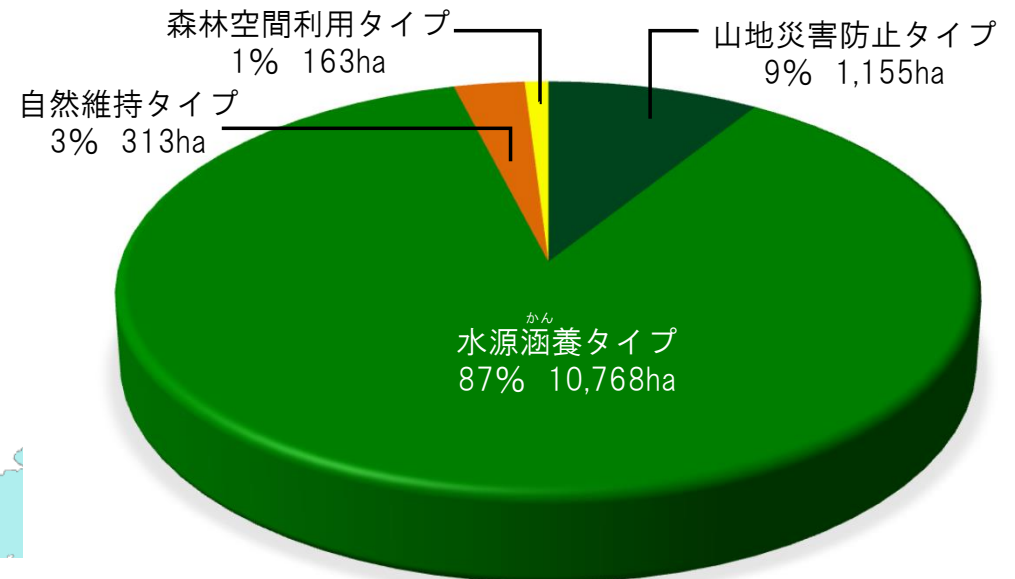
- ◆ 森林計画区の区域は、広島県北部の3市となっています。
- ◆ 国有林野は12,398haであり、計画区総土地面積の5%、森林面積の6%を占めています。
- ◆ 広島県北部の中国山地に大きな団地が分布しているほか、小さな団地が各所に散在しています。



森林計画区における森林面積の割合



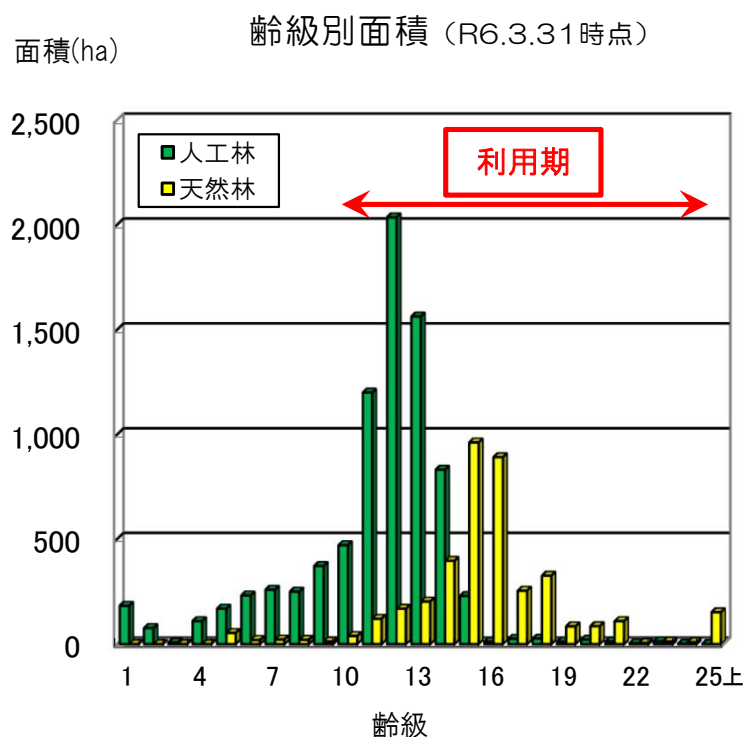
機能類型別森林面積



※計の不一致は四捨五入による。

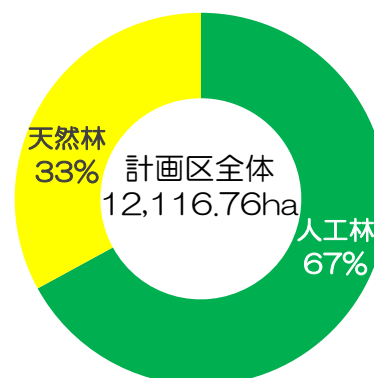
国有林野の特徴

- ◆ 人工林面積が8,279haと国有林野面積の約7割を占め、人工林の森林蓄積のうち約9割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有していることから、公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に努めることとしています。
- ◆ 一部の国有林野は「比婆道後帝釈国定公園」や「神之瀬峡県立自然公園」に指定されているほか、全国的にも希少なアベマキの巨木林が希少個体群保護林に指定されており、自然環境教育や保健休養の場として多くの人々に利用されています。

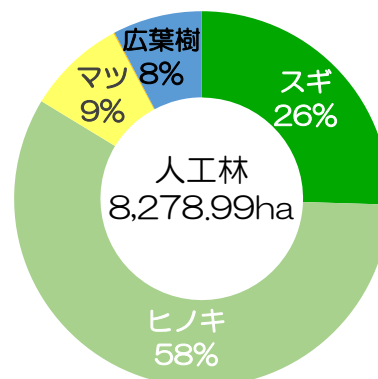


※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1 齢級、6～10年生を2 齢級、・・・と続きます。

人天別面積割合



樹種別面積割合



希少個体群保護林

名 称	国有林名 (市町村)	面積 (ha)
釜ヶ峰アベマキ・アカマツ 遺伝資源希少個体群保護林	釜ヶ峰山 (庄原市)	5.41

【保護林内のアベマキ巨木林】

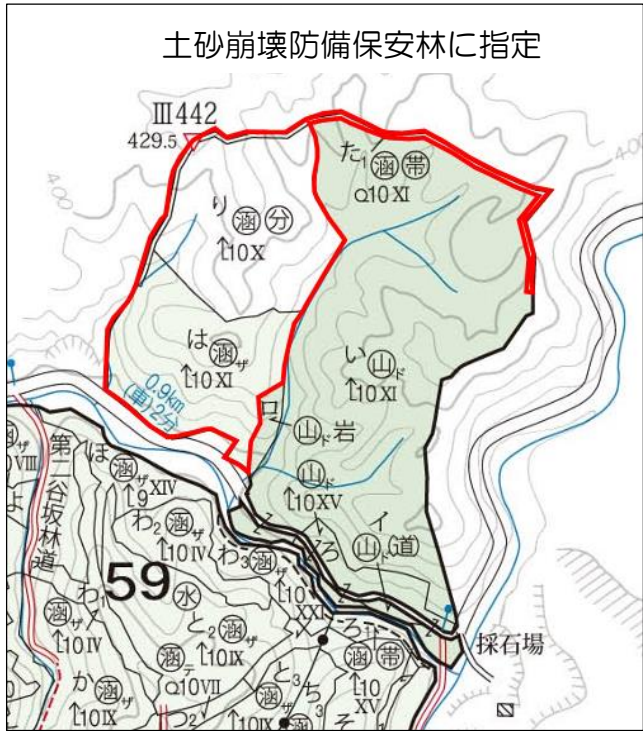
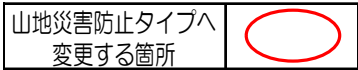


釜ヶ峰山国有林 (庄原市)

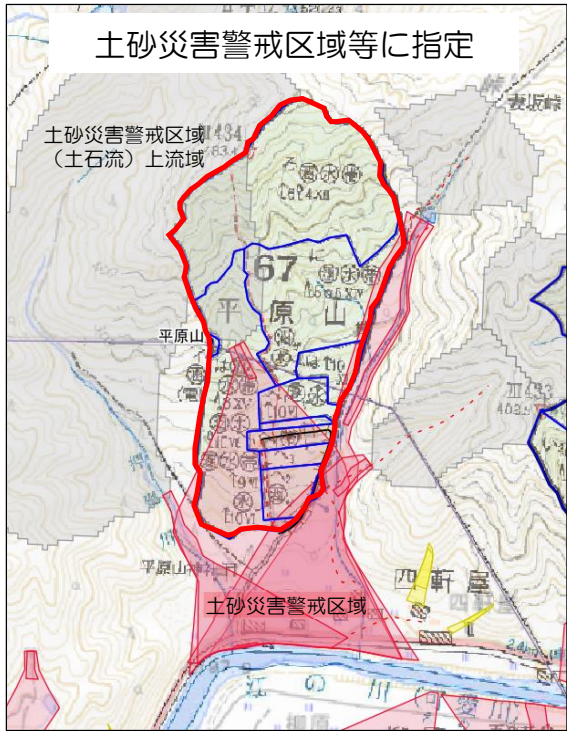
計画のポイント① 「災害に強い国土基盤の形成に向けた機能類型の変更」

- ◆ 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の観点から、土砂崩壊防備保安林や土砂災害警戒区域等に指定されている箇所の機能類型を見直し、「山地災害防止タイプ」へ変更します。

【山地災害防止タイプへ変更する国有林】



谷坂山国有林（安芸高田市）



平原山国有林（安芸高田市）

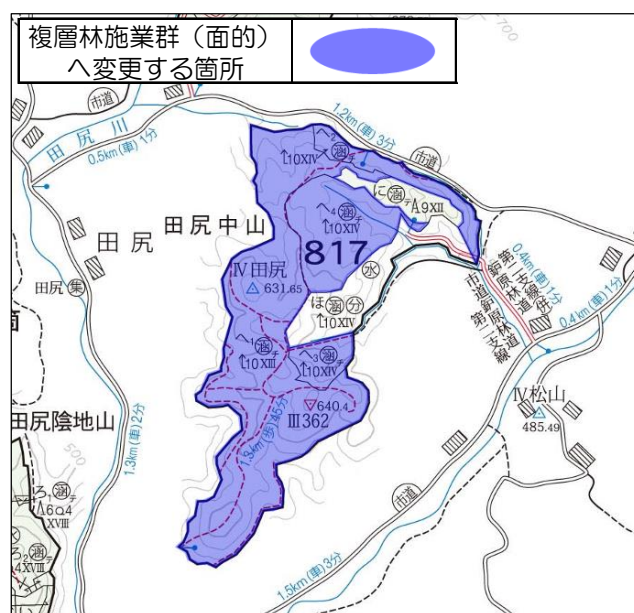


機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林名（市町村）	変更前の機能類型
山地災害防止タイプ	1,154.74	1,110.33	+44.41	谷坂山・平原山・柿原山 （安芸高田市） 宇遠木山・鳴瀬山 （三次市）	水源涵養 ^{かん} タイプ

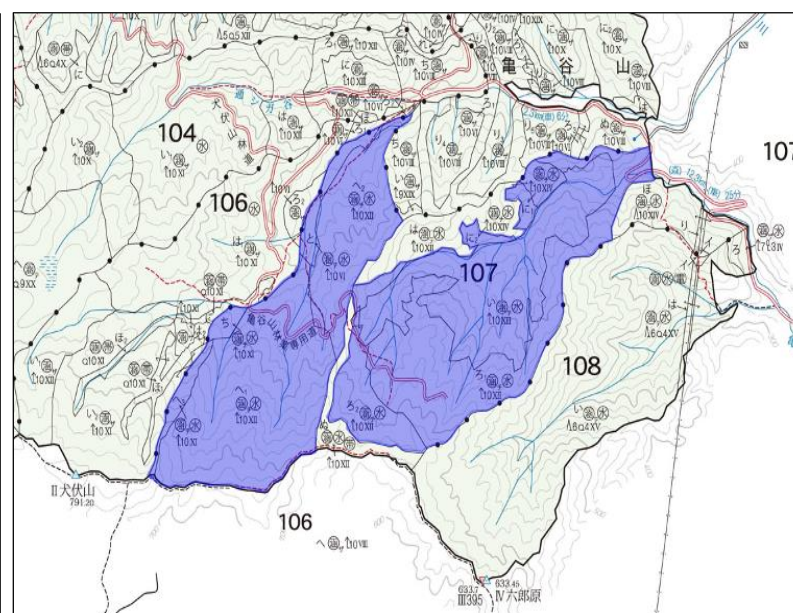
計画のポイント② 「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

- ◆ 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽による確実な更新により育成複層林へと誘導することとされています。
- ◆ 本計画区では、水源涵養タイプの人工林のうち500.51haを、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群（面的）」へ変更します。

【育成複層林へ誘導する国有林】

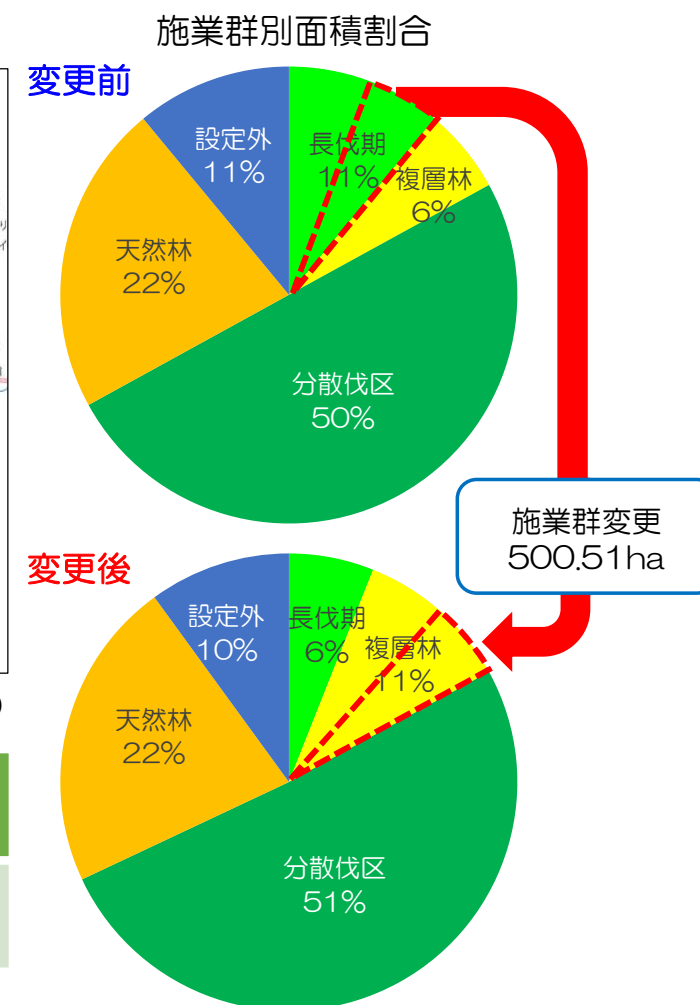


田尻中山国有林（庄原市）



亀谷山国有林（安芸高田市）

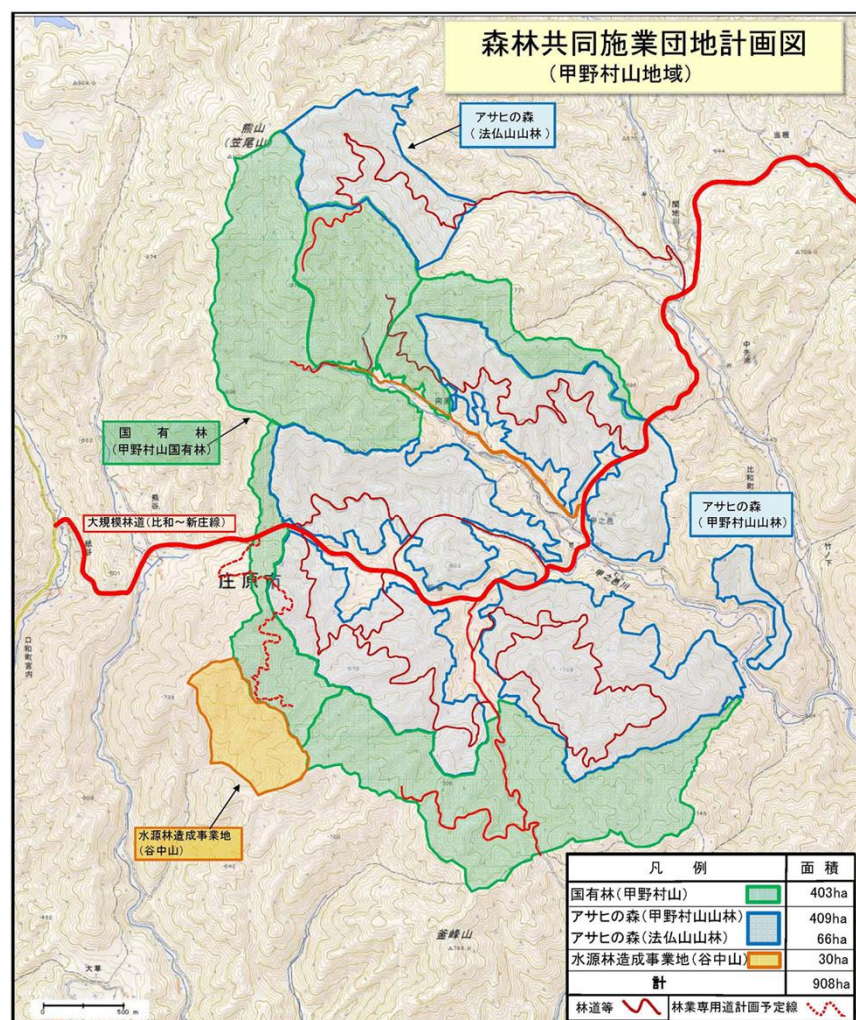
施 業 群	新 計 画 (ha)	現 計 画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群（面的）	500.51	—	+500.51	長伐期施業群



※複層林は複層林施業群及び複層林施業群(面的)

計画のポイント③「民有林と連携した施業の推進」

- ◆ 地域における施業集約化の取組を支援するため、民有林と連携することで事業の効率化や森林経営管理制度の導入に資する区域については、森林づくり推進協定を締結するとともに森林共同施業団地を設定しています。
- ◆ 本計画区では1箇所では協定を締結し、民有林と連結した路網の整備と相互利用の推進、民有林と協調を図りつつ計画的な間伐等や現地検討会等を通じた民有林への森林・林業技術の普及に取り組んでいます。



名 称 (所在市町)	対 象 地		
甲野村山地域 森林共同施業団地 (庄原市)	民有林	505ha	アサヒの森 水源林造成事業地
	国有林	403ha	甲野村山国有林
	計	908ha	
連携して行う取組み			
効率的な森林整備の推進、木材の安定的な供給体制の確立と間伐材の利用促進。			

【運営会議の様子】



広島北部森林管理署 (三次市)

【開設した林業専用道】



甲野村山国有林 (庄原市)

計画のポイント④ 「木材の供給」及び「木材の販売」

- ◆ 恵まれた人工林資源を有効活用するため、適正な森林整備を通じ、木材の安定供給に取り組めます。
- ◆ 木材の供給に当たっては、列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた効率的な森林整備を進めるとともに、自然条件・社会的条件を考慮して主伐を実施します。
- ◆ 木材の販売に当たっては、協定を締結した需要者に直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することで、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。

【森林作業道の作設作業】

丸太の運搬、機械の移動等で利用する森林作業道を作設します。



熊谷山国有林（安芸高田市）

【プロセッサによる造材作業】

全木集材された材の枝払い、測尺、玉切りを行います。

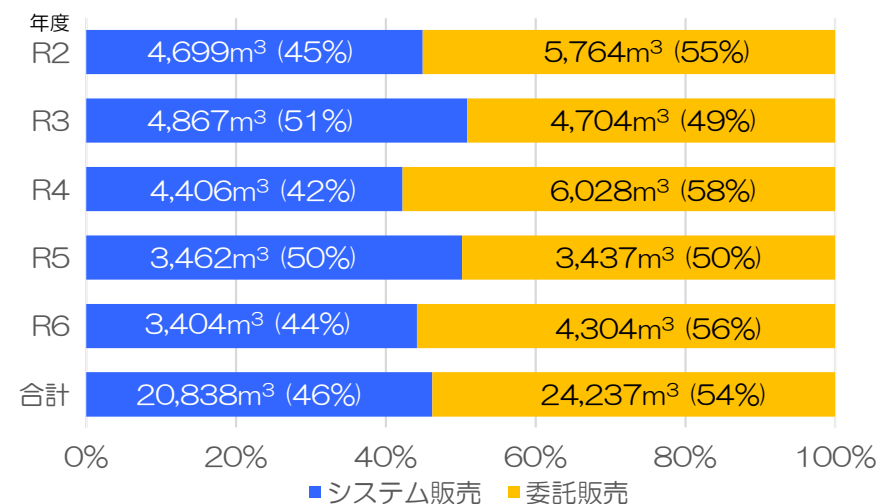


熊谷山国有林（安芸高田市）

国有林材の安定供給システム販売



システム（製品）、委託別 販売材積割合（江の川上流森林計画区）



※R6については、令和7年1月末迄の販売数量です。

【フォワーダによる運材作業】

森林作業道を利用して、丸太をトラック積込場所まで運搬します。



大伏山国有林（安芸高田市）

【トラック運搬】

積込場所に集積された丸太を木材市場まで、システム販売では購入者自らが運搬します。



熊谷山国有林（安芸高田市）

計画のポイント⑤「林業技術の開発、指導及び普及」

- ◆ 技術開発目標に基づき、林業の低コスト化に向けた造林・保育・生産技術、公益的機能の高度発揮を図るための森林施業及び保全技術、効率的な森林管理及び健全な森林の育成技術の確立に向けた技術開発を計画的に進めます。
- ◆ 本計画区では、再造林の省略化に向けた低密度植栽試験地を設定し、成長把握試験を実施するとともに、森林施業現場において現地検討会等を行っています。

【造林用機械による伐根粉碎の様子】



時鳥山国有林（安芸高田市）

森林組合等の林業事業体をはじめ、広島県や各市町村等が参加し、先進造林用機械による下刈作業の労働軽減に係る現地検討会を開催しました。

林業の中でも機械化が進んでいない造林作業において、造林工程の機械化を行い、軽労化・効率化・省力化を図るために開発された先進造林用機械「山もっとモット」の実演が地持え予定箇所において行われました

（アタッチメントを変えることで、伐根粉碎、下刈、残材集材、苗木運搬が可能）

【低密度植栽試験現地検討会の様子】



【正方形植え1,500本区】



時鳥山国有林（安芸高田市）

◇1,500本/ha植栽のスギ・ヒノキの成長把握試験

再造林経費の低減を図るためには、造林樹種の特性や生産目標等に応じて植栽本数を柔軟に選択できるようにすることが重要であり、現在、近畿中国森林管理局管内において、1,500本/ha植栽を含む低密度植栽試験を行っているところです。

試験地の箇所数等が少なく、今後の低密度植栽の本格導入に向けては、管内各地の低密度植栽地の成長等の把握が必要となっています。

今後、試験的に1,500本/ha植栽（比較対象として2,000本/ha植栽区も設定）を行い、その後の植栽木の成長を把握することで管内各地の成長状況の違い等の検証を行うこととしています。

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	(509ha) 184,308m ³	(517ha) 184,749m ³	主伐を行う分収林の減少に伴い、計画量が減少。
	間 伐	(1,930ha) 228,784m ³	(1,928ha) 206,032m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加。
更新総量	人工造林	472.84ha	560.58ha	対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下 刈	1,776.80ha	1,891.50ha	人工造林の減少に伴い、計画面積が減少。
	除 伐	124.93ha	124.62ha	対象箇所の増加に伴い、計画面積が増加。
林道事業	開 設	2,306m	5,000m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少。
	改 良	655m	385m	豪雨等により被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加。
治山事業	保全施設	14箇所	16箇所	荒廃地等復旧対象箇所の減少に伴い、計画量が減少。
	保安林の整備	11.67ha	4.46ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加。

主伐計画箇所



比和奥山国有林（庄原市）

間伐計画箇所



亀谷山国有林（安芸高田市）

（注）赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少